

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 第3回 競技式典専門委員会



いちご一会とちぎ国体
第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

日時 令和2年9月1日（火）午後3時30分～

会場 下野市役所庁舎3階 304会議室

目 次

■ いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 第3回 競技式典専門委員会

(1) 報告事項

報告第1号	いちご一会とちぎ国体下野市競技式典専門委員会委員の変更	・・・	2
報告第2号	鹿児島国体の延期等について	・・・	3
報告第3号	ハンドボール競技実施計画	・・・	4
報告第4号	サッカー競技実施計画	・・・	32
報告第5号	練習会場協力依頼	・・・	47

(2) 審議事項

審議第1号	いちご一会とちぎ国体 下野市情報通信基本計画（案）	・・・	49
審議第2号	いちご一会とちぎ国体 下野市式典基本計画（案）	・・・	52
審議第3号	いちご一会とちぎ国体 下野市炬火イベント実施計画（案）	・・・	87
審議第4号	デモスポ実施要項（案）	・・・	88
審議第5号	いちご一会とちぎ国体 下野市開催競技会場等設計（案）	（別紙）	

◆ 参考資料

- いちご一会とちぎ国体開催準備経過について
- いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会会則
- いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会総会から常任委員会への委任事項
- いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 委員名簿
- いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 顧問・参与名簿
- いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 役員名簿
- いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会専門委員会規程
- いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会各専門委員会委員名簿
- いちご一会とちぎ国体下野市開催推進総合計画
- いちご一会とちぎ国体下野市開催推進総合年次計画【年度別業務】

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会

第3回 競技式典専門委員会

次 第

日時 令和2年9月1日(火)

午後3時30分～

場所 市庁舎3階 304 会議室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 第3回 競技式典専門委員会

(1) 報告事項

- 報告第1号 いちご一会とちぎ国体下野市競技式典専門委員会委員の変更
- 報告第2号 鹿児島国体の延期等について
- 報告第3号 ハンドボール競技実施計画
- 報告第4号 サッカー競技実施計画
- 報告第5号 練習会場協力依頼

(2) 審議事項

- 審議第1号 いちご一会とちぎ国体 下野市情報通信基本計画(案)
- 審議第2号 いちご一会とちぎ国体 下野市式典基本計画(案)
- 審議第3号 いちご一会とちぎ国体 下野市炬火イベント実施計画(案)
- 審議第4号 デモスポ実施要項(案)
- 審議第5号 いちご一会とちぎ国体 下野市リハ大会会場設計仕様書(案)

(3) その他

4. 閉 会

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会
第3回 競技式典専門委員会

報 告 事 項



報告第1号

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 競技式典専門委員会委員の変更

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会会則第13条第4項において準用する、会則第8条第1項、第2項に基づき、令和2年2月5日から令和2年8月7日までの間における、いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会競技式典専門委員会委員の変更について、次のとおり報告する。

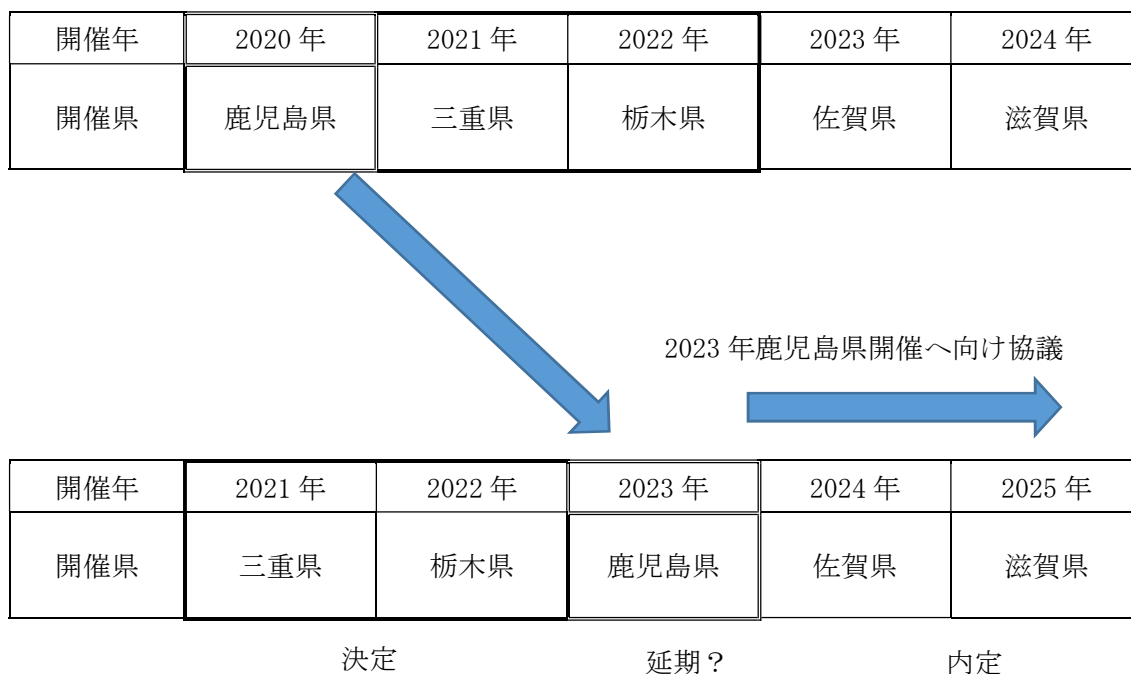
専門委員（1名）

（順不同・敬称略）

機関・団体	新任者	前任者
栃木県立石橋高等学校	針谷 勉	影山 貴之

報告第2号

鹿児島国体の延期等について



今年度開催予定の鹿児島国体は、新型コロナウイルス感染拡大により、延期が決定されたものの、延期の時期については、現在も未決定である。

新聞等報道によると、鹿児島国体の開催時期決定に関して、鹿児島県知事が佐賀県知事へ2023年鹿児島国体開催への協力を要請。佐賀県の山口知事は1年遅れの2024年開催について検討していく考えを示しているとのこと。

国体については、2021年三重、2022年栃木開催は決定されており、2023年佐賀、2024年滋賀が内定されている状況。また、全国2巡目を終える2033年鳥取開催までは内々定している。

公益財団法人日本スポーツ協会においては、2021年三重を予定通り開催していくことを発表しているが、鹿児島国体の延期時期が正式に決定していない状況のため、栃木国体への影響も現時点では不明である。

三重国体リハーサル大会について

- ・第25回ジャパンオープンハンドボールトーナメント（R2.7.11～7.14予定）
- ・第56回全国社会人サッカー選手権大会（R2.10.16～10.21予定）

令和2年（2020年）に開催予定であった三重国体の競技別リハーサル大会は中止決定。

報告第3号

第2号-1(事業計画書)

いちご一会とちぎ国体競技別リハーサル大会 運営経費調査 (最終)

候補大会事業計画書

市 町 名	下野市		競 技 名	ハンドボール 全種別					
候補大会名	第26回ジャパンハンドボールトーナメント								
	(候補大会選定の理由:		例年、国体のリハーサル大会として開催されており、全国規模かつトーナメント方式という国体に類似した形式で行われるため。						
大会日程	共催の場合 大会全体の日程	3 年 7 月 10 日 (土) ~ 7 月 13 日 (火)							
		・大会日程 (確定 ・ 未確定)							
	・未確定の場合(理由:中央競技団体にて調整が難航している。確定時期は未定。)								
	共催の場合 会場地市町の日程	日程		前日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
区分			△	○	○	○	○		
※ 開会式(1日目) … ◎ 競技日 … ○ 表彰式 … □ 公式練習日 … △									
大会規模	全国	東日本	関東	県内	その他()				
大会区分	一般	大学	高校	その他()					
参加 都道府県数 チーム数 監督人数 選手人数 人数合計	種別	少年男子	少年女子	成年男子	成年女子	合計			
	都道府県数			32	16	48			
	チーム数			32	16	48			
	監督人数			32	16	48			
	選手人数			512	256	768			
	人数合計		0	0	544	272	816		
大会役員	28 人 ※本大会における「競技会役員」を指します。								
競技役員	県外	中央	8 人						
		近県	32 人						
	県内	会場地外	0 人						
		会場地内	0 人						
	計	40 人							
競技補助員	168 人	会場地市町村外	0 人	会場地市町村内	168 人				
競技会係員	317 人	市町職員	317 人	その他	0 人				
競技会補助員	96 人								
医 師	4 人								
看 護 師	4 人								
競技会場	会場区分	競技施設名				競技日数			
	主会場	下野市石橋体育センター					日間		
	副会場						日間		
	副会場						日間		
	副会場						日間		
	副会場						日間		

(注) 1 選手・監督、役員、係員、補助員の数は、重複がないように記載すること。(※実人数にて記載)
 2 一つの大会を複数の市町で実施する場合、役員、係員、補助員の数は、関係市町で十分に協議の上、当該市町分のみを記載すること。(市町間で重複がないように留意すること。)

事業計画書

調査票1

※会場のレイアウト図を添付して下さい。

複数の競技日程がある場合は、最長の日程を記入

開始式:◎、競技日:○、表彰式:□、公開(公式)練習日:△

1 競技・日程・動員計画関係

市町名 下野市

競技名		ハンドボール											競技	種別	成年男子、成年女子、少年女子		備考
選手・監督数		人											(参加都道府県数		47)	
競技日程	会期日数	10/6~10/10											(5	日間)	
	日数	4日前	3日前	2日前	前日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	最大動員数	延べ動員数				
	区分					○	○	○	○・□	○・□							
競技役員等動員計画	競技役員	県外(中央派遣)	0	0	0	8	8	8	8	8	8	0	8	48			
		県内(近県・県内)	0	0	0	32	32	32	32	32	32	0	32	192			
		計	0	0	0	40	40	40	40	40	40	0	40	240			
	競技補助員	0	0	0	0	42	42	42	42	42	0	42	210				
	競技会係員	0	0	0	101	86	82	78	74	70	0	101	491				
	競技会補助員	0	0	0	0	24	24	24	24	24	0	24	120				

2 競技会場関係

該当すれば○を記入

該当すれば○を記入

	会場名(所在地)	屋内		屋外		備考
		○		○		
競技会場(1)	石橋体育センター(栃木県下野市大松山1-7-1)	○				
競技会場(2)						
競技会場(3)						
競技会場(4)						
競技会場(5)						

3 練習会場関係

該当すれば○を記入

該当すれば○を記入

	会場名(所在地)	屋内		屋外		備考
		○		○		
練習会場(1)	栃木県立石橋高校(栃木県下野市石橋845)	○				
練習会場(2)	下野市立石橋中学校(栃木県下野市1130)	○				
練習会場(3)	下野市立石橋小学校(栃木県下野市花の木1-4)	○				
練習会場(4)	下野市立古山小学校(栃木県下野市下古山3-1-9)	○				
練習会場(5)						

(注) 1 複数の種別を実施する場合は、種別欄に、それぞれの種別を、全ての種別を実施する場合は、「全種別」を記入して下さい。

2 「競技日程」の区分欄は、次により記入願います。開始式→◎、競技日→○、表彰式→□、公開(公式)練習日→△(1日に2以上の区分がある場合は、複数の区分を記入して下さい。)
複数の競技日程がある場合は、最長の日程を記入して下さい。

3 競技会場、練習会場欄の、屋内、屋外欄は該当するところに○印を記入して下さい。

(様式2)

いちご一会とちぎ国体 競技会場・練習会場及び使用面数等調査表 (最終)

市町名	下野市	競技名(種目)	ハンドボール競技	種別	全種別
-----	-----	---------	----------	----	-----

競技会場	会場名	施設区分	使用面数(コート、レーン、台数等)
	下野市石橋体育センター	市	1コート
	小計(1)		小計(1)

練習会場	会場名	施設区分	使用面数(コート、レーン、台数等)
	下野市南河内体育センター	市	1コート(ハーフコートで使用)
	下野市国分寺B&G海洋センター	市	1コート(ハーフコートで使用)
	栃木県立石橋高等学校体育館	県	1コート(ハーフコートで使用)
	下野市立石橋中学校体育館	市	1コート(ハーフコートで使用)
	下野市立石橋小学校体育館	市	1コート(ハーフコートで使用)
	下野市立古山小学校体育館	市	1コート(ハーフコートで使用)
小計(6)		小計(6)	

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画(最終)調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	ハンドボール	全種別	石橋体育センター	1

⑥ 会場別	
競技	練習
○	

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	○

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定SP	1	組	1コート1組(2台1組)	
2	ハンドボールゴール用ネット	1	組	リハ大会 1コート1組(2枚1組)	
3	ハンドボールゴール用ネット	1	組	本大会 1コート1組(2枚1組)	
4	キャッチネット	1	組	リハ大会 1コート1組(2枚1組)	
5	キャッチネット	1	組	本大会 1コート1組(2枚1組)	
6	ポリエステルロープ	1	個	リハ大会 1コート2個(両ゴール用)	
7	ポリエステルロープ	1	個	本大会 1コート2個(両ゴール用)	
8	砂袋式ウエイト	8	袋	1ゴール4個×2ゴール分	
9	ヌエバX5000(3号球)	12	球	リハ大会 6試合×2球	成年男子・少年男子
10	ヌエバX5000(3号球)	8	球	本大会 4試合×2球	成年男子・少年男子
11	ヌエバX5000(2号球)	10	球	リハ大会 5試合数×2球	成年女子・少年女子
12	ヌエバX5000(2号球)	32	球	本大会 16試合数×2球	成年女子・少年女子
13	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	2	台	ボール種類×1台	
14	フロアポンプ	1	台	1会場1台	
15	デジタル圧力計(計測のみ)	1	台	1会場1台	
16	リチウムコイン電池	2	個	リハ大会 1コート1組(2個1組)	
17	リチウムコイン電池	2	個	本大会 1コート1組(2個1組)	
18	空気針(2本入)	4	本	リハ大会 1会場4本	
19	空気針(2本入)	4	本	本大会 1会場4本	
20	松やに	10	缶	1日につき2缶×5日間※1缶155g	
21	松やにスプレー	10	本	1日につき2本×5日間※1本300cc	
22	松やにクリーナー	10	缶	1会場10缶※1缶2,200g	
23	松やにクリーナーポンプタイプ	12	本	1会場12本※1本470ml	
24	松やにクリーナームースタイプ	12	本	1会場12本※1本420cc	
25	松やにBOX	2	個	1コート2箱	
26	公式記録用紙(16名×25試合分)	3	冊	リハ大会 20試合1冊、TD用1冊、予備1冊※1冊16名用25試合分	
27	公式記録用紙(16名×25試合分)	3	冊	本大会 20試合1冊、TD用1冊、予備1冊※1冊16名用25試合分	
28	PC処理用公式記録用紙(30試合分)	3	冊	リハ大会 20試合1冊、TD用1冊、予備1冊※30試合分	
29	PC処理用公式記録用紙(30試合分)	3	冊	本大会 20試合1冊、TD用1冊、予備1冊※30試合分	
30	チームタイムアウト申請板(6枚組)	1	組	1コート1組	

31	チームタイムアウトスタンド(2ヶ1組)	1	組	1コート1組	
32	退場者カード表示板(2枚1組)	1	組	1コート1組	
33	イエロー・レッド・ブルーカード(3枚組)	2	組	1コート2組	
34	電子ホイッスル	5	個	1コート5個	
35	大音量電子ホイッスル	1	個	オフィシャル用1個	
36	G-TALK基本セット	3	台	1コート3台(審判2+オフィシャル)	
37	ヘッドセット	3	組	1コート3組(審判2+オフィシャル)	
38	巻き尺(コート計測用)	1	個	1コート1個	
39	ストップウォッチスタンダード	2	個	1コート2個(タイムキーパー2)	
40	ベンチアルミ-1L	10	台	対戦チーム5台ずつ1コート10台※1台4人掛け(長さ180cm×幅40cm×高さ41cm)	
41	シューダスターボード	4	個	1コート2個(予備2個)	
42	シューダスターシート	8	冊	リハ開会 1日2冊×4日間※1冊30枚綴り	
43	シューダスターシート	10	冊	本大会 1日2冊×5日間※1冊30枚綴り	
44	ポリラインテープDX	12	箱	リハ大会 1箱2巻入※非伸縮1巻(50mm×50m)	
45	ポリラインテープDX	12	箱	本大会 1箱2巻入※非伸縮1巻(50mm×50m)	
46	ビニールテープ	12	箱	リハ大会 1箱4巻入※伸縮1巻(50mm×25m)	
47	ビニールテープ	12	箱	本大会 1箱4巻入※伸縮1巻(50mm×25m)	
48	ポリラインテープ消し	24	箱	リハ大会 1箱2巻入※非伸縮1巻(70mm×50m)	
49	ポリラインテープ消し	24	箱	本大会 1箱2巻入※非伸縮1巻(70mm×50m)	
50	エコエムベスト(無地)	20	枚	1コート10枚×2組	
51	モップ120	8	本	1コート8本	
52	モップ120スペア	8	本	1コート8本(予備)	
53	雑巾	100	枚	1日20枚×5日間	
54	スタンダード表示盤	2	台	1コート2台	
55	デラックス表示盤	2	台	1コート2台	
56	連結用電源コード	2	本	1コート2本	
57	カウンター電源コード	2	本	1コート2本	
58	ケーブル	2	本	1コート2本	
59	フロアスタンド	2	本	1コート2本	
60	操作盤	1	台	1コート1台	
61	無線ユニット	3	台	1コート3台	
62	大音量ホン	1	台	1コート1台	
63	ホンケーブル	1	本	1コート1本	
64	リモコンスイッチ	1	台	1コート1台	
65	ケーブルリール	2	本	1コート2本	
66	退場タイマー表示盤	2	台	1コート2台	
67	退場タイマー操作盤	1	台	1コート1台	
68	退場タイマーケーブル	2	本	1コート2本	

69	連動スタート/ストップスイッチ	1	台	1コート1台	
70	スポーツコート(ゴールウエイト含む)	1	式	1コート1式	
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					
101					
102					
103					
104					
105					
106					

107					
108					
109					
110					
111					
112					
113					
114					
115					
116					
117					
118					
119					
120					

57	カウンター(様式A)	モルテンPW05C3	B	2	0	2	本			0			5,280	0		0	2	10,560	0		カタログ等		リハ+本				
58	ケーブル	モルテンD9P05C	A	2	0	2	本			0			20,900	0		0	2	41,800	0		カタログ等		リハ+本				
59	フロアスタンド	モルテンSCFSNR	A	2	0	2	本			0			37,400	0		0	2	74,800	0		カタログ等		リハ+本				
60	操作盤	モルテンUX0120-11	A	1	0	1	台			0			99,000	0		0	1	99,000	0		カタログ等		リハ+本				
61	無線ユニット	モルテンUP0070	A	3	0	3	台			0			92,400	0		0	3	277,200	0		カタログ等		リハ+本				
62	大音量ホーン	モルテンBHNDX	A	1	0	1	台			0			198,000	0		0	1	198,000	0		カタログ等		リハ+本				
63	ホーンケーブル	モルテンBHNI10C	B	1	0	1	本			0			17,600	0		0	1	17,600	0		カタログ等		リハ+本				
64	モニスイチ	モルテンDTRS	A	1	0	1	台			0			28,600	0		0	1	28,600	0		カタログ等		リハ+本				
65	ケーブルリール	モルテンCL100	B	2	0	2	本			0			11,000	0		0	2	22,000	0		カタログ等		リハ+本				
66	退場タイマー表示盤	モルテンHSTDP	A	2	0	2	台			0			176,000	0		0	2	352,000	0		カタログ等		リハ+本				
67	退場タイマー操作盤	モルテンHSTBXPXN	A	1	0	1	台			0			58,300	0		0	1	58,300	0		カタログ等		リハ+本				
68	退場タイマーケーブル	モルテンTOP80C	A	2	0	2	本			0			28,600	0		0	2	57,200	0		カタログ等		リハ+本				
69	運動スタート/ストップスイチ	モルテンHTSRS	A	1	0	1	台			0			28,600	0		0	1	28,600	0		カタログ等		リハ+本				
70	スポーツコート(ゴールウエイト含む)	レンタル業者所有物	A	1	0	1	式	1	4,885,760	4,885,760	レンタル業者			0		0	0	0	0		見積等取得		本大会				
71	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
72	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
73	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
74	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
75	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
76	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
77	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
78	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
79	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
80	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
81	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
82	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
83	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
84	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
85	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
86	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
87	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
88	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
89	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
90	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
91	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
92	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
93	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
94	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
95	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
96	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
97	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
98	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
99	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
100	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
101	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
102	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
103	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
104	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
105	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
106	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
107	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
108	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
109	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
110	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
111	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
112	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
113	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
114	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
115	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
116	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
117	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
118	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
119	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
120	0			0	0	0	0			0			0	0		0	0	0	0								
②合 計(数量および金額)										9	4,947,360			0	0	0	0	296	3,794,443	170	831,813						
自動で計算されます。セルの数式等変更しないでください。										内訳		備品	A	1	4,885,760			0	0	0	0	39	2,983,200	0	0		
										消耗品		B	8	61,600			0	0	0	0	257	811,243	170	831,813			

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	ハンドボール	全種別	南河内体育センター	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
	○

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	1	台	1会場1台（ハーフコートのため）	ハーフコートのためゴールは1台 石橋体育センターから1台移動
2	ハンドボールゴール用ネット	1	枚	購入は2枚1組。（52,800円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
3	キャッチネット	1	枚	購入は2枚1組。（18,700円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
4	砂袋式ウエイト	4	袋	1ゴール4袋	
5	スエノX5000(3号球)	10	球	1会場10球	成年男子・少年男子
6	スエノX5000(2号球)	10	球	1会場10球	成年女子・少年女子
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	2	台	1球種1台	3号球用1台+2号球用1台
8	フロアポンプ	1	台	1会場1台	
9	デジタル圧力計(計測のみ)	1	台	1会場1台	
10	空気針(2本入)	2	本	1会場2本（ポンプ1+圧力計1）	
11	リチウムコイン電池	2	個	1会場2個（うち予備1個）	圧力計用
12	シューダスターボード	1	個	1コート1個	
13	シューダスターシート	2	冊	1日半冊×4日間※1冊30枚綴り	
14	ポリラインテープDX	2	箱	140m/ハーフコート必要	1箱2巻入 ※非伸縮1巻（50mm×50m）
15	モップ120	4	本	1会場4本	
16	雑巾	20	枚	1会場20枚	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	ハンドボール	全種別	B&G海洋センター	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
	○

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	1	台	1会場1台（ハーフコートのため）	ハーフコートのためゴールは1台 石橋体育センターから1台移動
2	ハンドボールゴール用ネット	1	枚	購入は2枚1組。（52,800円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
3	キャッチネット	1	枚	購入は2枚1組。（18,700円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
4	砂袋式ウエイト	4	袋	1ゴール4袋	
5	ヌエバX5000(3号球)	10	球	1会場10球	成年男子・少年男子
6	ヌエバX5000(2号球)	10	球	1会場10球	成年女子・少年女子
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	2	台	1球種1台	3号球用1台+2号球用1台
8	フロアポンプ	1	台	1会場1台	
9	デジタル圧力計(計測のみ)	1	台	1会場1台	
10	空気針(2本入)	2	本	1会場2本（ポンプ1+圧力計1）	
11	リチウムコイン電池	2	個	1会場2個（うち予備1個）	圧力計用
12	シューダスターボード	1	個	1コート1個	
13	シューダスターシート	2	冊	1日半冊×4日間※1冊30枚綴り	
14	ポリラインテープDX	2	箱	140m/ハーフコート必要	1箱2巻入 ※非伸縮1巻（50mm×50m）
15	モップ120	4	本	1会場4本	
16	雑巾	20	枚	1会場20枚	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	ハンドボール	全種別	栃木県立石橋高校	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
○		

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	1	台	1コート1組 (2台1組)	-halfコートのためゴールは1台 石橋体育センターから1台移動
2	ハンドボールゴール用ネット	1	枚	購入は2枚1組。(52,800円/組)	halfコートのためゴールは1台
3	キャッチネット	1	枚	購入は2枚1組。(18,700円/組)	halfコートのためゴールは1台
4	砂袋式ウエイト	4	袋	1ゴール4袋	
5	ヌエバX5000(3号球)	10	球	1会場10球	成年男子・少年男子
6	ヌエバX5000(2号球)	10	球	1会場10球	成年女子・少年女子
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	2	台	1球種1台	3号球用1台+2号球用1台
8	フロアポンプ	1	台	1会場1台	
9	デジタル圧力計(計測のみ)	1	台	1会場1台	
10	空気針(2本入)	2	本	1会場2本(ポンプ1+圧力計1)	
11	リチウムコイン電池	2	個	1会場2個(うち予備1個)	圧力計用
12	シューダスターボード	1	個	1コート1個	
13	シューダスターシート	2	冊	1日半冊×4日間※1冊30枚綴り	
14	ポリラインテープDX	2	箱	140m/halfコート必要	1箱2巻入 ※非伸縮1巻(50mm×50m)
15	モップ120	4	本	1会場4本	
16	雑巾	20	枚	1会場20枚	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					

(様式4)

いちご一会とちぎ国体 競技用具整備計画(最終)調査表

① 市町名 下野市	② 競技名 ハンドボール	③ 種別 全種別	④ 会場名 栃木県立石橋高校	⑤ 面数等 1
--------------	-----------------	-------------	-------------------	------------

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
○		

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	

No	⑨ 品名	⑭ 規格・メーカー	⑮ 区分 備品A 消耗品B	⑩ 必要数	⑪ 現行数	⑫ 不足数	⑬ 単位	⑯ 借用				⑰ 購入単価 (税込)	⑱ 県購入		⑲ 市町購入						⑳ 金額の 算出根拠	㉑ オリ対 追加分	㉒ 使用する 大会			
								数量	単価(税込)	金額	借用先		数量	金額	2020年度まで		2021年度		2022年度							
															数量	金額	数量	金額	数量	金額						
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	エバニュー-EKD765	A	1		1	台	1	0	0	石橋体育センター		0		0	0	0	0	0			0			本大会	
2	ハンドボールゴール用ネット	モルテンHN	B	1	0	1	枚			0		26,400	0		0	0	1	26,400			0			本大会		
3	キャッチネット	モルテンHCN	B	1	0	1	枚			0		9,350	0		0	0	1	9,350			0			本大会		
4	砂袋式ウエイト	レンタル業者所有物	B	4	0	4	袋	4	7,700	30,800	レンタル業者		0		0	0	0	0			0			本大会		
5	ヌエバX5000(3号球)	H3X5001-BW	B	10	0	10	球			0		9,240	0		0	0	10	92,400			0			本大会		
6	ヌエバX5000(2号球)	H2X5001-BW	B	10	0	10	球			0		9,020	0		0	0	10	90,200			0			本大会		
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	モルテンBK20HB	A	2	0	2	台			0		27,500	0		0	0	2	55,000			0			本大会		
8	フロアポンプ	モルテンAP70	B	1	0	1	台			0		5,170	0		0	0	1	5,170			0			本大会		
9	デジタル圧力計(計測のみ)	モルテンCA0010	B	1	0	1	台			0		7,370	0		0	0	1	7,370			0			本大会		
10	空気針(2本入)	モルテンMCAR2	B	2	0	2	本			0		220	0		0	0	2	440			0			本大会		
11	リチウムコイン電池	マクセルCR2032 2BS	B	2	0	2	個			0		345	0		0	0	2	691			0			本大会		
12	シューダスターボード	モルテンTT0030	B	1	0	1	個			0		4,180	0		0	0	1	4,180			0			本大会		
13	シューダスターシート	モルテンTT0020	B	2	0	2	冊			0		5,940	0		0	0	2	11,880			0			本大会		
14	ポリアインテープDX	モルテンTP0025-W	B	2	0	2	箱			0		3,410	0		0	0	2	6,820			0			本大会		
15	モップ120	エバニュー-EKK035	B	4	0	4	本			0		11,550	0		0	0	4	46,200			0			本大会		
16	雑巾	スマートバリュー-N043J	B	20	0	20	枚			0		70	0		0	0	20	1,408			0			本大会		
17				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
18				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
19				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
20				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
21				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
22				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
23				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
24				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
25				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
26				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
27				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
28				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
29				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
30				0	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0			0					
⑳ 合計(数量および金額)								5		30,800		0	0	0	0	0	0	59	357,508							
内訳 (数量及び金額)										0		0	0	0	0	0	0	2	55,000							
消耗品								4		30,800		0	0	0	0	0	0	57	302,508							

自動で計算されます。セルの形式等変更しないでください。

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	ハンドボール	全種別	下野市立石橋中学校	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	1	台	1コート1組（2台1組）	ハーフコートのためゴールは1台 石橋体育センターから1台移動
2	ハンドボールゴール用ネット	1	枚	購入は2枚1組。（52,800円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
3	キャッチネット	1	枚	購入は2枚1組。（18,700円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
4	砂袋式ウエイト	4	袋	1ゴール4袋	
5	ヌエバX5000(3号球)	10	球	1会場10球	成年男子・少年男子
6	ヌエバX5000(2号球)	10	球	1会場10球	成年女子・少年女子
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	2	台	1球種1台	3号球用1台+2号球用1台
8	フロアポンプ	1	台	1会場1台	
9	デジタル圧力計(計測のみ)	1	台	1会場1台	
10	空気針(2本入)	2	本	1会場2本（ポンプ1+圧力計1）	
11	リチウムコイン電池	2	個	1会場2個（うち予備1個）	圧力計用
12	シューダスターボード	1	個	1コート1個	
13	シューダスターシート	2	冊	1日半冊×4日間※1冊30枚綴り	
14	ポリラインテープDX	2	箱	140m/ハーフコート必要	1箱2巻入 ※非伸縮1巻（50mm×50m）
15	モップ120	4	本	1会場4本	
16	雑巾	20	枚	1会場20枚	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

(様式4)

いちご一会とちぎ国体 競技用具整備計画(最終)調査表

① 市町名 下野市	② 競技名 ハンドボール	③ 種別 全種別	④ 会場名 下野市立石橋中学校	⑤ 面数等 1
--------------	-----------------	-------------	--------------------	------------

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	

No	⑨ 品名	⑭ 規格・メーカー	⑮ 区分 備品A 消耗品B	⑩ 必要数	⑪ 現有数	⑫ 不足数	⑬ 単位	⑯ 借用				⑰ 購入単価 (税込)	⑱ 県購入		⑲ 市町購入						⑳ 金額の 算出根拠	㉑ オリ対 追加分	㉒ 使用する 大会
								数量	単価(税込)	金額	借用先		数量	金額	2020年度まで		2021年度		2022年度				
															数量	金額	数量	金額	数量	金額			
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	エバニュー-EKD765	A	1		1	台	1	0	0	石橋体育センター		0		0	0	0	0	0	0			本大会
2	ハンドボールゴール用ネット	モルテンHN	B	1	0	1	枚			0		26,400	0		0	0	1	26,400			本大会		
3	キャッチネット	モルテンHCN	B	1	0	1	枚			0		9,350	0		0	0	1	9,350			本大会		
4	砂袋式ウエイト	レンタル業者所有物	B	4	0	4	袋	4	7,700	30,800	レンタル業者		0		0	0	0	0	0			本大会	
5	ヌエバX5000(3号球)	H3X5001-BW	B	10	0	10	球			0		9,240	0		0	0	10	92,400			本大会		
6	ヌエバX5000(2号球)	H2X5001-BW	B	10	0	10	球			0		9,020	0		0	0	10	90,200			本大会		
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	モルテンBK20HB	A	2	0	2	台			0		27,500	0		0	0	2	55,000			本大会		
8	フロアポンプ	モルテンAP70	B	1	0	1	台			0		5,170	0		0	0	1	5,170			本大会		
9	デジタル圧力計(計測のみ)	モルテンCA0010	B	1	0	1	台			0		7,370	0		0	0	1	7,370			本大会		
10	空気針(2本入)	モルテンMCAR2	B	2	0	2	本			0		220	0		0	0	2	440			本大会		
11	リチウムコイン電池	マクセルCR2032 2BS	B	2	0	2	個			0		345	0		0	0	2	691			本大会		
12	シューダスターボード	モルテンTT0030	B	1	0	1	個			0		4,180	0		0	0	1	4,180			本大会		
13	シューダスターシート	モルテンTT0020	B	2	0	2	冊			0		5,940	0		0	0	2	11,880			本大会		
14	ポリアインテープDX	モルテンTP0025-W	B	2	0	2	箱			0		3,410	0		0	0	2	6,820			本大会		
15	モップ120	エバニュー-EKK035	B	4	0	4	本			0		11,550	0		0	0	4	46,200			本大会		
16	雑巾	スマートバリュー-N043J	B	20	0	20	枚			0		70	0		0	0	20	1,408			本大会		
17				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
18				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
19				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
20				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
21				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
22				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
23				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
24				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
25				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
26				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
27				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
28				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
29				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
30				0	0	0				0		0	0		0	0	0	0					
⑳ 合計(数量および金額)								5		30,800		0	0	0	0	0	0	59	357,508				
内訳 (数量及び金額)										0		0	0	0	0	0	0	2	55,000				
消耗品								4		30,800		0	0	0	0	0	0	57	302,508				

自動で計算されます。セルの形式等変更しないでください。

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	ハンドボール	全種別	下野市立石橋小学校	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	1	台	1コート1組（2台1組）	ハーフコートのためゴールは1台 南河内体育センターから1台移動
2	ハンドボールゴール用ネット	1	枚	購入は2枚1組。（52,800円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
3	キャッチネット	1	枚	購入は2枚1組。（18,700円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
4	砂袋式ウエイト	4	袋	1ゴール4袋	
5	ヌエバX5000(3号球)	10	球	1会場10球	成年男子・少年男子
6	ヌエバX5000(2号球)	10	球	1会場10球	成年女子・少年女子
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	2	台	1球種1台	3号球用1台+2号球用1台
8	フロアポンプ	1	台	1会場1台	
9	デジタル圧力計(計測のみ)	1	台	1会場1台	
10	空気針(2本入)	2	本	1会場2本（ポンプ1+圧力計1）	
11	リチウムコイン電池	2	個	1会場2個（うち予備1個）	圧力計用
12	シューダスターボード	1	個	1コート1個	
13	シューダスターシート	2	冊	1日半冊×4日間※1冊30枚綴り	
14	ポリラインテープDX	2	箱	140m/ハーフコート必要	1箱2巻入 ※非伸縮1巻（50mm×50m）
15	モップ120	4	本	1会場4本	
16	雑巾	20	枚	1会場20枚	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	ハンドボール	全種別	下野市立古山小学校	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	ハンドボールゴールオールアルミ検定	1	台	1コート1組（2台1組）	ハーフコートのためゴールは1台 B&G海洋センターから1台移動
2	ハンドボールゴール用ネット	1	枚	購入は2枚1組。（52,800円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
3	キャッチネット	1	枚	購入は2枚1組。（18,700円/組）	ハーフコートのためゴールは1台
4	砂袋式ウエイト	4	袋	1ゴール4袋	
5	ヌエバX5000(3号球)	10	球	1会場10球	成年男子・少年男子
6	ヌエバX5000(2号球)	10	球	1会場10球	成年女子・少年女子
7	折りたたみ式ボールかご(中・背高)	2	台	1球種1台	3号球用1台+2号球用1台
8	フロアポンプ	1	台	1会場1台	
9	デジタル圧力計(計測のみ)	1	台	1会場1台	
10	空気針(2本入)	2	本	1会場2本（ポンプ1+圧力計1）	
11	リチウムコイン電池	2	個	1会場2個（うち予備1個）	圧力計用
12	シューダスターボード	1	個	1コート1個	
13	シューダスターシート	2	冊	1日半冊×4日間※1冊30枚綴り	
14	ポリラインテープDX	2	箱	140m/ハーフコート必要	1箱2巻入 ※非伸縮1巻（50mm×50m）
15	モップ120	4	本	1会場4本	
16	雑巾	20	枚	1会場20枚	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

いちご一会とちぎ国体 競技役員等第3次編成数算出表

競技名	ハンドボール	種別	成年男子、成年女子、少年女子	市町名	下野市			
競技会場名	下野市石橋体育センター		競技会場数	1	コート数	1	作成年月日	令和2年6月12日

NO.	役職名	競技役員														競技補助員											
		中央派遣競技役員						県内(近県)競技役員								合計	男子	女子	合計	必要数算出根拠							
		審判員		運営員		小計	審判員			運営員			小計														
		人数	必要数算出根拠	人数	必要数算出根拠		県内	近県	必要数算出根拠	資格	県内	近県		必要数算出根拠	資格												
1	競技委員長	1		1												0	0			0							
2	競技副委員長			3												0						0					
3	競技委員			7												0						1	1	2	2	先催参考	
4	総務委員長	1		1												0	0					0			0		
5	総務副委員長			2												0						1	1			0	
6	総務委員			8												0						2	2	2	2	先催参考	
7	テクニカルデレгат	1	14	15												0						4	4			0	
8	審判長	1		1												0	0					0	0			0	
9	副審判長	1		1	2											0	0					0	0			0	
10	審判員	32		32	8	中央指名										8	2	会場×2人				2	10			0	
11	裁定委員			0												0	0					0	0			0	
12	総合成績計算委員長	1		1												0	0					0	0			0	
13	総合成績計算委員			3												0						1	1			0	
14	記録員(本部)主任			1												0	0					0	0			0	
15	記録員(本部)副主任			2												0						1	1			0	
16	記録員(本部)			3												0						1	1			0	
17	記録速報委員			2												0						1	1	4	4	先催参考	
18	記録速報掲示委員			2												0						1	1	4	4	先催参考	
19	報道委員			3												0						1	1	2	2		
20	放送委員			3												0						1	1	2	2		
21	戦評委員			16												0						3	3			0	
22	コート委員主任			1												0						1	1			0	
23	コート委員副主任			1												0						1	1			0	
24	コート委員			10												0						2	2	6	6	先催参考	
25	コート記録計時			6												0						1	1	4	4	先催参考	
26	コート整備			6												0						2	2	16	16	先催参考	
27	練習会場委員			11												0						1	1			0	
28	救護係員主任			1												0	0					0	0			0	
29	救護係員副主任			3												0						1	1			0	
30	救護係員			4												0						2	2			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0												0	0					0	0			0	
				0																							

第2号-4(競技会係員編成計画表)

市町名	下野市
競技名	ハンドボール 全種別

競技会係員等編成計画表

役職名	競技会係員			競技会補助員		
	総数	市町職員	その他	総数	会場地外	会場地内
1 総務部長	4	4		0		
2 案内広報班長	4	4		0		
3 総合案内所係長	4	4		0		
4 総合案内所係	4	4		0		
5 広報記録係長	4	4		0		
6 広報記録係	4	4		0		
7 競技会場部	1	1		0		
8 会場総務班長	4	4		0		
9 会場総務係長	4	4		0		
10 会場総務係	12	12		0		
11 受付案内係長	4	4		0		
12 受付案内係	12	12		7	7	
13 競技式典班長	4	4		0		
14 競技会場係長	4	4		0		
15 競技会場係	12	12		0		
16 式典表彰係長	4	4		0		
17 式典表彰係	4	4		0		
18 記録速報係長	4	4		0		
19 記録速報係	4	4		0		
20 チーム支援係長	4	4		0		
21 チーム支援係	56	56		0		
22 練習会場係長	4	4		0		
23 練習会場係	16	16		0		
24 医療救護班長	4	4		0		
25 医療救護係長	4	4		0		
26 医療救護係	4	4		0		
27 消防警備班長	4	4		0		
28 消防警備係長	4	4		0		
29 消防警備係	8	8		0		
30 輸送交通班長	4	4		0		
31 輸送交通係長	4	4		0		
32 輸送交通係	8	8		0		
33 駐車場係長	4	4		0		
34 駐車場係	48	48		0		
35 おもてなし班長	4	4		0		
36 休憩所係長	4	4		0		
37 休憩所係	8	8		5	5	
38 弁当係長	4	4		0		
39 弁当係	8	8		5	5	
40 環境美化係長	4	4		0		
41 環境美化係	12	12		7	7	
42	0			0		
43	0			0		
44	0			0		
45	0			0		
合計	317	317	0	24	24	0

第24回ジャパンオープンハンドボールトーナメント (Japan Open Handball Tournament)

「燃ゆる感動かごしま国体」ハンドボール競技リハーサル大会 大会実施要項

- 1 主催 (公財) 日本ハンドボール協会, 全日本社会人ハンドボール連盟
霧島市, 霧島市教育委員会, 燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会霧島市実行委員会
- 2 主管 鹿児島県ハンドボール協会
- 3 後援 鹿児島県, 鹿児島県教育委員会, (公財) 鹿児島県体育協会, 霧島市スポーツ協会
- 4 期日 令和元年8月10日(土) ~ 8月13日(火)
- 5 会場 霧島市溝辺体育館 鹿児島県霧島市溝辺町麓 3391
霧島市横川体育館 鹿児島県霧島市横川町上ノ 3392-3
霧島市隼人体育館 鹿児島県霧島市隼人町内山田 1-14-16
霧島市立国分中央高等学校 精華アリーナ 鹿児島県霧島市国分中央 1-10-1
- 6 種別 男子の部/女子の部

7 参加資格

- (1) 令和元年度(公財)日本ハンドボール協会に年度当初「一般A」に登録された単独チーム及び個人とする。
大会申込み締切後の追加・移籍での出場は認められない。また、日本ハンドボールリーグ(「一般L」登録)・全日本学生ハンドボール連盟・(公財)全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部・全国高専ハンドボール連盟に登録されたチーム及び個人の出場はできない。
- (2) 参加チームは、各地区(ブロック)の予選を通過したチーム、または地区の推薦を受けたチームとし、開催県は男女1チームずつの出場を認める。
- (3) 中学生以下の出場は認めない。
- (4) 各地区(ブロック)の出場割当数は以下のとおりとする。

地区	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催県	計
男子	1	4	7	3	4	3	3	2	4	1	32
女子	1	2	3	2	1	2	1	1	2	1	16

(留意事項)

- ① 不参加ブロックや不参加チームがあった場合の出場割り当て枠は、九州ブロックで対応する。
- ② 各都道府県・ブロック予選にあたっての選手登録確認は、それぞれの主管協会が責任を持って行うこと。
また、ブロック予選は各都道府県代表2チーム以上が出場することによって実施されることが望ましい。

- 8 参加人員 登録は、役員6名以内・選手16名以内の合計22名以内とする。
ただし、監督が選手を兼ねる場合は選手としても参加申し込みをすること。

- | |
|---------------------------------|
| ○ 大会エントリー・・・役員 6 名以内・選手 16 名以内 |
| ○ ゲームエントリー・・・役員 4 名以内・選手 16 名以内 |

9 参加申込

- (1) 申し込みは **web** 登録システムの大会参加申込を利用すること。 <https://handballer.jp/>
- (2) 申込期限は、令和元年 6 月 25 日 (火) 23:59 とする。東北、関東ブロックは 7 月 2 日(火)11:59 とする。
- (3) 申込書の番号は、試合時ユニフォームの背番号と同一にすること。
なお、ユニフォーム色の変更期限は代表者会議前日までとする。その際、下記 (ア) (イ) (ウ) 宛てに届けなければならない。
- (4) 申込締め切り後の役員・選手の変更は、死亡・疾病・傷害等の特別な場合のみ認める。特別な事情で変更する場合は、それを証明する書類を添付した文書を下記 (ア) (イ) (ウ) 宛に届け出ること。届出の手続きは、代表者会議の前日までに完了させること。原本は (ア) のみで良い。

〈申込送付先〉

(ア) 「(公財) 日本ハンドボール協会」 宛

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 14-1 第 2 田中ビル 7F

TEL:03-6709-8940 FAX:03-6709-8941

E-mail:info@japan-handball.jp

(イ) 「鹿児島県ハンドボール協会」 宛 事務局 海江田 貴嗣

〒899-6507 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 330-5 県立霧島高等学校内

TEL:0995-76-0039 FAX:0995-76-0040

E-mail:kaieda_taka@yahoo.co.jp

(ウ) 「燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会霧島市実行委員会」 宛

〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央 3-45-1 霧島市国民体育大会推進課内

TEL:0995-64-0736 FAX:0995-64-0740

E-mail:kokutai@city-kirishima.jp

10 参加料 1 チーム 30,000 円

- (1) 令和元年 6 月 26 日 (水) までに下記口座に振り込むこと。東北、関東ブロックは 7 月 2 日(火)とする。

〈振込先〉

金融機関：鹿児島銀行郡山支店 普通口座 No. 143739

口座名義：鹿児島県ハンドボール協会 会長 岡山明弘

振込み手数料は各チームで負担すること。

- (2) 振込名は先頭にチーム名をつけること。
- (3) 口座振込済みを証明する書類 (各金融機関発行の振込金受領書等) は、大会が終了するまで保管すること。

- 1.1 競技規則 令和元年度「(公財)日本ハンドボール協会競技規則」による。
- 1.2 競技方法 トーナメント方式による。3位決定戦を実施する。
- 1.3 組合せ抽選
- (1) 日時: 令和元年7月2日(火) 14:00～
- (2) 場所: (公財)日本ハンドボール協会事務局会議室(東京都新宿区四谷本塩町14-1第2田中ビル7F)
- (3) 方法: (公財)日本ハンドボール協会の責任において抽選する。
抽選結果は、後日、主管協会を通じて各チームに連絡する。
- 1.4 表彰
- (1) 優勝チームには、(公財)日本ハンドボール協会会長杯(持ち回り)を授与する。
- (2) 第1位から第4位までのチームには、賞状を授与する。
- (3) 第1位から第3位までのチームには、メダルを授与する。
- 1.5 会議日程
- (1) テクニカル・レグレート・審判会議 令和元年8月9日(金) 12:30～
ホテル京セラ 鹿児島県霧島市隼人町見次 1409-1 ☎0995-43-7111
- (2) 代表者会議 令和元年8月9日(金) 開会式終了後
ホテル京セラ 鹿児島県霧島市隼人町見次 1409-1 ☎0995-43-7111
- 1.6 開会式 令和元年8月9日(金) 15:00～
ホテル京セラ 鹿児島県霧島市隼人町見次 1409-1 ☎0995-43-7111
- 1.7 閉会式 男子の部 令和元年8月13日(火) 12:40～
霧島市溝辺体育館
- 女子の部 令和元年8月12日(月) 12:40～
霧島市横川体育館
- 1.8 宿泊 宿泊については、大会期間中の宿舎を仮予約していることから、必ず指定の宿泊取り扱い業者を通して申込みをすること。詳細は「宿泊・弁当のご案内」による。
- 1.9 競技申し合わせ事項
- (1) 同点の場合の延長戦は、準決勝までは第1延長までとし、なお同点の場合は7mTCで決する。
決勝戦は、正規延長戦を行うものとする。
- (2) 背番号は、大会申込書に記載された番号と同一のものを使用する。
- (3) シューズは、体育館履き専用を着用し、屋外履きシューズとの区別をする。
- (4) 試合球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。

- (5) 松ヤニ・松ヤニスプレーの使用を認めない。各競技会場では両面テープのみ使用可とする。また、練習球は松ヤニ等の付着していないものを各チームで準備すること。
- (6) 選手・チーム役員は、(公財)日本ハンドボール協会発行の登録証を持参しなければならない。各試合の開始前に登録証で本人であることを確認する。登録証を携帯していない場合は試合に出場することができない。
- (7) 役員登録している役員がいないチームは、チームタイムアウトを請求することができない。
- (8) ハーフタイムは15分とする。

20 その他の事項

- (1) 各チームの代表者は、競技に使用する全種類のユニフォームを持参の上、代表者会議に出席すること。ユニフォームが規定のものであることの確認を受け、1回戦の対戦チーム同士で調整を行うこと。
- (2) ユニフォームはコートプレーヤー・ゴールキーパーそれぞれ2着以上の色の異なるものを用意すること。なお、短パンの下にサイクリングパンツ及びユニフォームの下にアンダーシャツ等を着用する場合の事などについては、「服装や保護を目的とした装具に関する規定」として、日本協会ホームページ2019競技規則の欄に掲載しているため、出場チームはそれぞれ確認、規定を遵守の上、参加すること。
- (3) チーム責任者は、大会期間中の選手の行動に関して一切の責任を負うものとする。
- (4) 大会参加チームの役員・選手は、必ず大会前に健康診断を受けて参加するものとし、大会中は健康保険証を持参すること。なお各チームの選手は、各自スポーツ傷害等の保険に加入の上、参加すること。
- (5) 競技中に生じた疾病・傷害等については、主催者で応急処置の対応を行うが、その後の責任は一切負わないものとする。
- (6) 開会式には、各チーム代表者2名で必ず参加すること。また、開会式の品位を損なわない服装で参加すること。なお、部旗・所属都道府県協会旗を持参する必要はない。
- (7) 大会期間中に撮影された写真等は、報告書、広報紙、ホームページ等に掲載されることがある。
- (8) 本大会での選手等の計画輸送は一切行わないので、各チームにて移動手段を確保すること。
- (9) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピングコントロール対象大会である。
- (10) 本大会参加者は、大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- (11) 未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を日本ハンドボール協会へ別途提出している者のみエントリーできる。
- (12) 本大会参加者は、本大会で行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (13) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

報告第4号

第2号-1(事業計画書)

いちご一会とちぎ国体競技別リハーサル大会 運営経費調査 (最終)
候補大会事業計画書

市町名	下野市		競技名	サッカー					
候補大会名	第57回全国社会人サッカー選手権大会								
	(候補大会選定の理由:)								
大会日程	共催の場合 大会全体の日程	R3年10月9日(土) ~ 10月13日(水)							
		・大会日程 (確定・未確定)							
	・未確定の場合(理由: ほぼ確定だがまだ予定である。)								
	共催の場合 会場地市町の日程	日程	前日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
区分		△	○	○					
※ 開会式(1日目) … ◎ 競技日 … ○ 表彰式 … □ 公式練習日 … △									
大会規模	全国	東日本	関東	県内	その他()				
大会区分	一般	大学	高校	その他()					
参加 都道府県数 チーム数 監督人数 選手人数	種別	少年男子	少年女子	成年男子	成年女子	合計			
	都道府県数			-		0			
	チーム数			4		4			
	監督人数			4		4			
	選手人数			100		100			
	人数合計	0	0	104	0	104			
大会役員	28人 ※本大会における「競技会役員」を指します。								
競技役員	県外	中央	5人						
		近県	4人						
	県内	会場地外	30人						
		会場地内	0人						
	計	39人							
競技補助員	80人	会場地市町村外	0人	会場地市町村内	80人				
競技会係員	147人	市町職員	147人	その他	0人				
競技会補助員	48人								
医師	2人								
看護師	2人								
競技会場	会場区分	競技施設名					競技日数		
	主会場	下野市大松山運動公園陸上競技場					2	日間	
	副会場							日間	
	副会場							日間	
	副会場							日間	
	副会場							日間	

(注) 1 選手・監督、役員、係員、補助員の数は、重複がないように記載すること。(※実人数にて記載)
2 一つの大会を複数の市町で実施する場合、役員、係員、補助員の数は、関係市町で十分に協議の上、当該市町分のみを記載すること。(市町間で重複がないように留意すること。)

事業計画書

調査票1

※会場のレイアウト図を添付して下さい。

複数の競技日程がある場合は、最長の日程を記入

開始式:◎、競技日:○、表彰式:□、公開(公式)練習日:△

1 競技・日程・動員計画関係

市町名 下野市

競技名		サッカー											競技	種別	少年男子		備考		
選手・監督数		人 (参加都道府県数)																	
競技日程		会期日数 2022.10.2~2022.10.6											(5 日間)						
		日数		4日前	3日前	2日前	前日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	最大動員数	延べ動員数				
		区分						○		○	○								
競技役員等動員計画	競技役員	県外(中央派遣)	0	0	0	0	5	0	5	5	0	0	5	15					
		県内(近県・県内)	0	0	0	0	34	0	34	34	0	0	34	102					
		計	0	0	0	0	39	0	39	39	0	0	39	117					
	競技補助員		0	0	0	0	43	0	43	43	0	0	43	129					
	競技会係員		0	0	0	73	74	0	74	86	0	0	86	307					
	競技会補助員		0	0	0	0	24	0	24	24	0	0	24	72					

2 競技会場関係

該当すれば○を記入

該当すれば○を記入

	会場名(所在地)	屋内		屋外		備考
		○		○		
競技会場(1)	下野市大松山運動公園陸上競技場			○		
競技会場(2)						
競技会場(3)						
競技会場(4)						
競技会場(5)						

3 練習会場関係

該当すれば○を記入

該当すれば○を記入

	会場名(所在地)	屋内		屋外		備考
		○		○		
練習会場(1)	下野市大松山運動公園多目的グラウンド			○		
練習会場(2)	別処山公園			○		
練習会場(3)						
練習会場(4)						
練習会場(5)						

(注) 1 複数の種別を実施する場合は、種別欄に、それぞれの種別を、全ての種別を実施する場合は、「全種別」を記入して下さい。

2 「競技日程」の区分欄は、次により記入願います。開始式→◎、競技日→○、表彰式→□、公開(公式)練習日→△(1日に2以上の区分がある場合は、複数の区分を記入して下さい。)
複数の競技日程がある場合は、最長の日程を記入して下さい。

3 競技会場、練習会場欄の、屋内、屋外欄は該当するところに○印を記入して下さい。

(様式2)

いちご一会とちぎ国体 競技会場・練習会場及び使用面数等調査表 (最終)

市町名	下野市	競技名(種目)	サッカー	種別	少年男子
-----	-----	---------	------	----	------

競技会場	会場名	施設区分	使用面数(コート、レーン、台数等)
	大松山運動公園陸上競技場	市有施設	1面
	小計(1)		小計(1)

練習会場	会場名	施設区分	使用面数(コート、レーン、台数等)
	大松山運動公園多目的グラウンド	市有施設	1面
	別処山公園	市有施設	1面
小計(2)		小計(2)	

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画(最終) 調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等	⑥ 会場別	⑦ 施設区分	⑧ 大会区分
下野市	サッカー	少年男子	下野市大松山運動公園陸上競技場	1	競技 ○	練習 ○	県有 ○
						市町有 ○	その他 ○
							本大会 ○
							リハ大会 ○

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	サッカーゴール	1	組	1コート1組	
2	サッカーゴールネット	1	組	1コート1組	
3	ゴールネット引張り用ひも	1	巻	1コート1巻	
4	ゴールネット引張り用ひも固定用	8	個	1コート8個	
5	ゴールネットウエイト	16	個	ゴール1組分16個	
6	ラインテープ(白)	1	箱	1コート1箱(4巻)	ゴールネット補修用
7	試合球	14	球	本大会 試合数(6球)+使い回し(6球)+予備(2球)	
8	空気入れ	2	個	1コート1個+予備1個	
9	空気入れ針	2	箱	空気入れ1個につき1箱	
10	デジタル空気圧計	2	個	1コート1個+予備1個	
11	ボールケース	1	袋	1コート1袋	
12	警告・退場カード	1	セット	1コート1セット	
13	選手交代ボード	2	台	1コート1台+予備1台	
14	得点板	1	台	1コート1台	
15	大時計	1	台	1コート1台	
16	コーナーフラッグ	2	セット	1コート1セット(6本)+予備1セット	
17	アシスタントフラッグ	2	セット	1コート1セット+予備1セット	
18	ホイッスル	4	個	本大会 1コート2個+予備2個	
19	マーカーコーン	2	セット	1コート2個(1セット=10個)	
20	ゲームベスト	8	セット	1コート色違い4セット×2チーム	
21	トス用コイン	1	枚	1コート1枚	
22	落雷感知器	1	台	1コート1台	
23	温湿度計	1	台	1コート1台	
24	簡易無線機	14	台	1コート14台	
25	ストップウォッチ	2	個	1コート1個+予備1個	
26	ストップウォッチ用電池	2	個	ストップウォッチ1個につき1個	
27	ラインカー	1	台	1会場1台	
28	ライン引き用スプレー(白)	3	本	本大会 1コート2本+予備1本 リハ大 1コート2本+予備1本	
29	ライン引き用スプレー(緑)	3	本	本大会 1本あたり600m(1コート使用可能)×3日 リハ大 1本×2日	
30	スタジアムローパー1L	3	本	本大会 1本あたり600m(1コート使用可能)×3日 リハ大 1本×2日	
31	ライン引機専用洗剤スーパーフラッシュ	1	本	本大会 1コート1本 リハ大 1コート1本	
32	ロープマーカー(白)	2	組	1会場2組	
33	検尺ロープ	1	巻	1コート1巻	
34	検尺ロープ巻取器	1	台	1コート1台	
35	コーナーロープ巻取器	1	台	1コート1台	
36	メジャー120m	2	個	1コート2個	
37	メジャー100m	2	個	1コート2個	
38	人工芝	32	枚	1コート32枚	
39	救急用担架	2	台	1コート1台+予備1台	
40	AED	1	台	1会場1台	
41	チーム用テント	2	張	本大会 1コート2張	
42	ベンチ用椅子	44	脚	1コート44脚	
43	第4審判用テント	1	張	本大会 1コート1張	
44	第4審判用机	1	台	本大会 1コート1台	
45	第4審判用椅子	1	脚	本大会 1コート1脚	
46	落雷感知器・温湿度計用電池	1	セット	1コート1セット	
47	試合球	12	球	リハ 試合数(4球)+使い回し(6球)+予備(2球)	
48	ホイッスル	4	個	リハ 1コート2個+予備2個	
49	ライン引き用スプレー(白)	3	本	リハ 1コート2本+予備1本	
50	ライン引き用スプレー(緑)	2	本	リハ 1本あたり600m(1コート使用可能)×2日	
51	スタジアムローパー1L	2	本	リハ 1本あたり600m(1コート使用可能)×2日	
52	チーム用テント	2	張	リハ 1コート2張	
53	第4審判用テント	1	張	リハ 1コート1張	
54	第4審判用机	1	台	リハ 1コート1台	
55	第4審判用椅子	1	脚	リハ 1コート1脚	
56	ライン引機専用洗剤スーパーフラッシュ	1	本	リハ 1本	
57	石灰	5	袋	本大会 5袋	
58	石灰	5	袋	リハ 5袋	
59					
60					

(様式4)

いちご一会とちぎ国体 競技用具整備計画(最終)調査表

Table with 5 columns: ① 市町名, ② 競技名, ③ 種別, ④ 会場名, ⑤ 面数等. Values: 下野市, サッカー, 少年男子, 下野市大松山運動公園陸上競技場, 1

Table with 2 columns: ⑥ 会場別 (競技, 練習), ⑦ 施設区分 (県有, 市町有, その他). Values: 〇, 〇

Table with 2 columns: ⑧ 大会区分 (本大会, リハ大会). Values: 〇, 〇

Main table with columns 9-25. Includes item names (e.g., サッカーゴール, ゴールネット), specifications, quantities, and costs. Summary rows at the bottom show totals for quantities and amounts.

自動で計算されます。セルの数式等変更しないでください。

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	サッカー	少年男子	大松山運動公園多目的グラウンド	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	○

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	サッカーゴール	1	組	1コート1組	
2	サッカーゴールネット	1	組	1コート1組	
3	ゴール固定用用具	6	個	1コート6個（ゴール1台に3個×2台）	
4	ラインカー	2	台	1コート2台	
5	ベンチ用椅子	24	脚	1会場24脚	
6	メジャー100m	2	個	1コート2個	
7	コーナーフラッグ	1	セット	1コート1セット	
8	石灰	5	袋	本大会 1コート5袋	
9	選手用テント	1	張	本大会 1コート1張	
10	石灰	5	袋	リハ 1コート5袋	
11	選手用テント	1	張	リハ 1コート1張	
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

(様式3)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ 競技用具整備計画（最終）調査必要数算出表

① 市町名	② 競技名	③ 種別	④ 会場名	⑤ 面数等
下野市	サッカー	少年男子	下野市別処山公園	1

⑥ 会場別	
競技	練習
	○

⑦ 施設区分		
県有	市町有	その他
	○	

⑧ 大会区分	
本大会	リハ大会
○	○

No.	⑨ 品名	⑩ 必要数	⑪ 単位	⑫ 必要数の算出根拠	⑬ 算出上の留意点等
1	サッカーゴール	1	組	1コート1組	
2	サッカーゴールネット	1	組	1コート1組	
3	ゴール固定用用具	6	個	1コート6個（ゴール1台に3個×2台）	
4	ラインカー	2	台	1コート2台	
5	ベンチ用椅子	24	脚	1会場24脚	
6	メジャー100m	2	個	1コート2個	
7	コーナーフラッグ	1	セット	1コート1セット	
8	石灰	5	袋	本大会 1コート5袋	
9	選手用テント	1	張	本大会 1コート1張	
10	石灰	5	袋	リハ 1コート5袋	
11	選手用テント	1	張	リハ 1コート1張	
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

第2号-4(競技会係員編成計画表)

市町名	下野市
競技名	サッカー

競技会係員等編成計画表

役職名	競技会係員			競技会補助員		
	総数	市町職員	その他	総数	会場地外	会場地内
1 総務部長	2	2		0		
2 案内広報班長	2	2		0		
3 総合案内所係長	2	2		0		
4 総合案内所係員	2	2		0		
5 広報記録係長	2	2		0		
6 広報記録係	2	2		0		
7 競技会場部長	1	1		0		
8 会場総務班長	2	2		0		
9 会場総務係長	2	2		0		
10 会場総務係員	6	6		0		
11 受付案内係長	2	2		0		
12 受付案内係員	6	6		14		14
13 競技式典班長	2	2		0		
14 競技会場係長	2	2		0		
15 競技会場係員	6	6		0		
16 式典表彰係長	2	2		0		
17 式典表彰係員	2	2		0		
18 記録速報係長	2	2		0		
19 記録速報係員	2	2		0		
20 チーム支援係長	2	2		0		
21 チーム支援係員	16	16		0		
22 練習会場係長	2	2		0		
23 練習会場係員	8	8		0		
24 医療救護班長	2	2		0		
25 医療救護係長	2	2		0		
26 医療救護係員	2	2		0		
27 消防警備班長	2	2		0		
28 消防警備係長	2	2		0		
29 消防警備係員	4	4		0		
30 輸送交通班長	2	2		0		
31 輸送交通係長	2	2		0		
32 輸送交通係員	4	4		0		
33 駐車場係長	2	2		0		
34 駐車場係員	24	24		0		
35 おもてなし班長	2	2		0		
36 休憩所係長	2	2		0		
37 休憩所係員	4	4		10		10
38 弁当係長	2	2		0		
39 弁当係員	4	4		10		10
40 環境美化係長	2	2		0		
41 環境美化係員	6	6		14		14
42	0			0		
43	0			0		
44	0			0		
45	0			0		
合計	147	147	0	48	0	48



大会・試合

第55回全国社会人サッカー選手権大会

2019/10/11(金)~2019/10/16(水)

大会要項

ツイート いいね 1:0 シェア

名称

第55回全国社会人サッカー選手権大会
(燃ゆる感動かごしま国体サッカー競技リハーサル大会)

主催

公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人全国社会人サッカー連盟
霧島市、南さつま市、志布志市
霧島市教育委員会、南さつま市教育委員会、志布志市教育委員会
燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会霧島市実行委員会
燃ゆる感動かごしま国体南さつま市実行委員会
燃ゆる感動かごしま国体志布志市実行委員会

主管

一般社団法人鹿児島県サッカー協会、鹿児島県社会人サッカー連盟

後援

鹿児島県、鹿児島県教育委員会、公益財団法人鹿児島県体育協会、
霧島市スポーツ協会、南さつま市体育協会、公益財団法人鹿児島県地域振興公社、
志布志市体育協会

日程

開催日

2019年10月11日(金)~10月16日(水)

会場

霧島市

国分運動公園陸上競技場

国分運動公園多目的グラウンド

まきのほら運動公園多目的広場

南さつま市

OSAKO YUYA stadium (加世田運動公園陸上競技場)

加世田運動公園多目的広場

県立吹上浜海浜公園運動広場

志布志市

志布志運動公園陸上競技場

志布志市しおかぜ公園(A)、(C)

組合せ

2019年8月17日(土)全国社会人サッカー連盟に於いて抽選を行ない決定する。
本大会の出場全チームが決定次第、組合せを発表する。

開会式

日時：2019年10月16日(水) 決勝戦終了後
会場：霧島市国分運動公園陸上競技場
住所：〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309 TEL：0995-46-4398

参加資格

公益財団法人日本サッカー協会及び一般財団法人全国社会人サッカー連盟に登録された、第1種（準加盟を含む）のチームに有って、次の条件に従う。

- (1) J1リーグ、J2リーグ、J3リーグ、JFL、大学連盟、高専連盟、専門学校連盟に加盟したチームは除く。
- (2) 外国籍選手の登録は1チームにつき3名以内とする。但し、「JFAのプロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この3名を超えて登録できるものとするが、何れの場合も、外国籍選手の登録人数の総数は、5名を超えてはならない。（準加盟チームは除く）
※同一試合には、3名が同時に試合に出場する事が出来る。
- (3) 選手の登録期限は2019年9月2日（月）（大会WEBエントリー登録期限）までに、公益財団法人日本サッカー協会が登録を承認した選手とする。
- (4) 選手資格に疑義がある場合は、あらかじめ所属地域社会人サッカー連盟の意見を求める。なお疑いの有る場合は、一般財団法人全国社会人サッカー連盟がこれを裁定する。
- (5) 公益財団法人日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームに付いては、同一「クラブ」内のチームに所属する選手を移籍手続きを行う事なく本大会に参加させる事が出来る。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させる事も可能とする。ただし、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させる事が出来る。第1種・シニアの年代の選手は適用対象外とする。
- (6) 予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加する事は出来ない。

参加チーム数とその数

- (1) 本大会は、下記により選出された32チームにより行う。
 - ① 9地域社会人サッカー連盟から各1チーム
 - ② 前年度（2018年度）各地域の全社連登録数の比率で22チームを配分。
 - ③ 開催都道府県を代表する1チーム
- (2) 2019年度参加枠（32チーム）
 - ①北海道 社会人サッカー連盟 3チーム
 - ②東北 社会人サッカー連盟 2チーム
 - ③関東 社会人サッカー連盟 6チーム
 - ④北信越 社会人サッカー連盟 2チーム
 - ⑤東海 社会人サッカー連盟 4チーム
 - ⑥関西 社会人サッカー連盟 5チーム
 - ⑦中国 社会人サッカー連盟 3チーム
 - ⑧四国 社会人サッカー連盟 2チーム
 - ⑨九州 社会人サッカー連盟 4チーム
 - ⑩開催県社会人サッカー連盟（鹿児島県）1チーム
- (3) 代表選出方法：当該社会人サッカー連盟は、次により本大会に参加すべき代表チームを選出する。
 - ① 地域社会人サッカー連盟は地域予選を行い、その順位に従って本大会に参加すべき代表チームを決定する。
 - ② 地域社会人サッカー連盟及び開催地社会人サッカー連盟は、2019年9月1日(日)までに本大会に参加すべき代表チームを決定する。

大会形式

32チームによるノックアウト方式にて優勝以下第4位までを決定する。第3位・第4位の決定戦を行う。

競技規則

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「[サッカー競技規則](#)」による。

競技会規定

- (1) 競技のフィールド
本大会は天然芝及び人工芝フィールドで行う。なお、人工芝フィールドで行う場合は、原則「FIFAサッカー芝品質コンセプト認証フィールド」または「JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ」とする。ただし使用する人工芝フィールドは、原則は2回戦までの最大6試合とする。一つのチームが連続して人工芝使用と成る事を選べるものとする。
- (2) ボール
試合球：モルテン社製 検定球5号球
商品名：ヴァンタッシュ5000（品番F5V5000）
マルチボールを採用する。
- (3) 競技者の数
 - ①競技者の数：11名
 - ②交代要員の数：7名以内
 - ③交代を行うことができる数：5名以内

(4) 役員の数

チームベンチに入る事が出来る役員の数：6名以内

(5) テクニカルエリア：設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度ただ1人の役員が伝える事が出来る。**(6) 競技者の用具****① ユニフォーム**

a. 大会実施年度の本協会「 ユニフォーム規程 」に則る。

b. ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行する事。（FP・GK用共）シャツの色彩は審判が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

c. シャツの前面・背面に参加申込書に登録した選手番号を付ける事。ショーツの選手番号に付いては、付けることが望ましい。

d. ユニフォームの色・選手番号は、参加申込締切日以後の変更を認めない。

e. ユニフォームに他のチーム（各国代表、プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは、着用できない。

f. ユニフォームへの広告表示については（公財）日本サッカー協会「 ユニフォーム規程 」に基づき承認された場合のみこれを認める。なお、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。

g. ソックスの上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合は、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

h. ユニフォームのシャツが縦（縦縮も横縮も）の場合は、台地（白布地等）（縦30cm×横30cm位）に背番号を付けて判りやすくする事。

(7) 試合時間

① 試合時間：80分（前・後半40分）

② ハーフタイムのインターバル：原則として10分（前半終了から後半開始まで）

③ 試合時間内で勝敗が決定しない場合は、PK方式により勝者を決定する。

④ PK方式に入る前のインターバル：1分

⑤ アディショナルタイム表示：実施する

(8) その他

① 第4の審判員：任命する

② 負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

③ チームベンチ：ピッチ上本部からフィールドに向かって
左側・・・対戦表の左（上）に記載されているチーム
右側・・・対戦表の右（下）に記載されているチーム

懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規定の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会に於いて順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。
- (2) 本大会は、公益財団法人日本サッカー協会「 懲罰規程 」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は、本連盟専務理事とし、委員に付いては委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に出場出来ない。
- (5) 本大会に於いて退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場出来ず、それ以降の処置に付いては、規律委員会に於いて決定する。
- (6) 累積警告は準々決勝戦終了後、ゼロにリセットされる。
- (7) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

表彰

優勝・準優勝・第3位に表彰状・トロフィー・メダルを授与する。

優勝チームには、優勝旗・一般財団法人全国社会人サッカー連盟杯を授与し、次回の大会まで保持させる。

その他

本大会の成績で優勝から第4位までのチームで、全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2019の出場権を得ていない場合は、最大で成績上位3チームに全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2019への出場権を与えるものとする。

但し、上記の成績でチャンピオンズリーグ出場権を得る事の出来るチームは、各地域サッカー最上位リーグの成績が2位、3位のチームで、且つJFLへ入会を希望するチームに限るものとする。

ツイート [いいね!](#) 0 シェア



第77回国民体育大会 会場地練習会場(最終)調査用紙

(様式1) 報告書
【No.1 / 1】 第5号

市町名: 下野市

	競技名(種目)	種別	練習会場施設名	面数	管理者	使用期間	使用日数	承諾書	リハ大会での借用	備考
1	サッカー	少年男子	大松山運動公園多目的グラウンド	1	市町	9月29日～10月6日	8日	不要	借用可	市有施設のため承諾書不要
2			別処山公園	1	市町	9月29日～10月6日	8日	不要	借用可	市有施設のため承諾書不要
3										
4	ハンドボール	全種別	栃木県立石橋高等学校体育館	0.5	県	10月4日～10月10日	7日	取得	不要	リハ大会では市有施設を使用
5			下野市立石橋中学校体育館	0.5	市町	10月4日～10月10日	7日	取得	不要	リハ大会では市有施設を使用
6			下野市立石橋小学校体育館	0.5	市町	10月4日～10月10日	7日	取得	不要	リハ大会では市有施設を使用
7			下野市立古山小学校体育館	0.5	市町	10月4日～10月10日	7日	取得	不要	リハ大会では市有施設を使用
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

【記載責任者】	所属	下野市スポーツ振興課国体推進グループ
	職・氏名	主事 伊澤 勝輝
	電話	0285-32-8920
	FAX	0285-32-8611
	E-Mail	sports@city.shimotsuke.lg.jp

欄が足りない場合は、同一シート内にコピーして2ページとし、右上にナンバーを記入して下さい。

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会
第3回 競技式典専門委員会

審 議 事 項



審議第1号

いちご一会とちぎ国体下野市情報通信基本計画（案）

1 目的

この計画は、いちご一会とちぎ国体（以下「国体」という。）を円滑に運営するため、情報通信設備の整備について、基本となる事項を定める。

2 整備の方針

情報通信設備は、可能な限り既存の設備を活用することとし、整備に当たっては、関係機関、団体等と十分な調整を行い、本市の通信環境に合致し、効率性、経済性が高く、使い勝手の良い情報通信設備を整備する。

また、国体終了後に行う現状復旧において施設等の補修が必要となる場合には、当該補修作業が最小限かつ短期間となるよう配慮する。

3 整備の範囲

情報通信設備の整備の範囲は次のとおりとする。

(1) 競技会の運営に必要な情報通信設備

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、競技会を円滑に運営するため、競技会場に置かれる実施本部と外部関係者等との間の通信及び実施本部員との間の通信に必要な情報通信設備を整備する。

(2) 記録業務の実施に必要な情報通信設備

実行委員会は、迅速かつ正確な記録の送受信を行い、記録業務を円滑に実施するため、各競技会場記録本部において必要な情報通信設備を整備する。

(3) 参加者等への情報提供に必要な情報通信設備

実行委員会は、各競技会の参加者並びに一般観覧者に競技日程、結果等の情報を提供するため、総合案内所等に必要な情報通信設備を整備する。

4 情報通信設備の種別

情報通信設備の種別は次のとおりとし、別表に掲げる各情報通信設備の特徴等を考慮し、業務内容に適した情報通信設備を整備する。

なお、通信規模や設置機器の構成を反映した外部回線の種類の選定や、LAN（構内ネットワーク等）の構築に配慮するものとする。

(1) 有線系（固定電話）

利用頻度が著しく高く、又は重要度が高い場合は専用電話とし、それ以外の場合は加入電話（光電話を含む。）とする。

また、必要に応じて、ファクシミリの設置やインターネット環境の整備を行う。

(2) 無線系

移動通信は、携帯電話（PHSを含む。）又は無線とする。

なお、これらの選定に当たっては、当該通信地域の電波状況、通信に求められる重要度、通信の頻度、使い勝手、経済性に留意して選定する。

5 企業協賛の活用

実行委員会は、情報通信設備の整備にあたっては、企業協賛による無償貸与及び運営指導、電界強度調査等の技術援助により、整備等に要する経費の節減に努める。

別表（情報通信整備計画 4 関係）

区分	情報通信設備	特徴	主な用途
有線系	専用電話 （ホットライン）	<ul style="list-style-type: none"> ・専用回線を整備する。 ・特定の2者間で利用し、受話器を取ると相手に繋がるため話し中がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施本部内において、緊急性・重要度があり利用頻度が高い部署間で使用。
	加入電話 （光電話を含む。）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般回線を使用する。 ・複数の相手と通話できる。 ・臨時に設置する一般電話で、特定電話番号を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回線が集中する部署では、必要最小限の回線を内線電話で共有できるビジネスフォンを使用すると効果的。 ・実施本部と外部関係者及び本部内の各班間で使用。
	ファクシミリ （FAX）	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面による通信ができる。 ・FAXと一体となった電話端末機もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭連絡では業務上支障があり、紙面での連絡・指示等が必要な部署で使用。
	インターネット	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンによりデータの送受信ができる。 ・気象、交通情報等の情報収集ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会運営資料の送受信、情報収集が必要な部署で使用。
無線系	携帯電話 （PHSを含む。）	<ul style="list-style-type: none"> ・秘匿性が比較的高い。 ・付加機能（メール）によるデータの送受信ができる。 ・通話が集中する時間帯では、通信できなくなる可能性があるため、臨時基地局の設置を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動通信が必要で、一対一の連絡頻度が高い部署で使用。
	特定小電力無線 〈アナログ方式〉 〈デジタル方式〉	<ul style="list-style-type: none"> ・通信距離は約100～200m。（見通し距離） ・手軽に使い免許がいらない。 ・手軽で多数が使用するため、混信が多い。 ・建物等の障害物に弱い。 ・一斉通話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出力（10mW）が弱く、通話距離も短いことから、通話相手が見渡せる距離で使用。 ・陸上競技場の観覧席等において、業務連絡が必要な小グループの部署で使用。
	新簡易無線 〈アナログ方式〉	<ul style="list-style-type: none"> ・通信距離は約1km。 ・チャンネル数が比較的多く、混信が少ないため、イベントに適している。 ・一斉通話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出力（1W）は特定小電力無線より強く、チャンネル数、通信距離等から競技会場内で使用。 ・駐車場間の業務連絡等、ある程度の距離がある部署で使用。
	簡易無線 〈アナログ方式〉 〈デジタル方式〉	<ul style="list-style-type: none"> ・通信距離は約3km。 ・チャンネル数が多く、混信が少ない。 ・アナログ方式の機器は、屋内外の使用に適している。 ・一斉通話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新簡易無線より出力（1～5W）が強く、チャンネル数・通信距離等から競技会場内外で使用。
	MCA無線 〈デジタル方式〉	<ul style="list-style-type: none"> ・中継基地局経由の広域通信。 ・通信距離は中継基地局から半径30～50km。 ・建物の影響を受けやすいが、屋外アンテナで解消できる。 ・通話時間（概ね1分間）の制限があり、話し中で通信ができない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部と駐車場（パーク＆ライド等）との業務連絡等、長距離間通信が必要な部署で使用。

審議第2号

いちご一会とちぎ国体下野市式典基本計画（案）

1 目的

いちご一会とちぎ国体（以下「国体」という。）において下野市で開催される式典（炬火イベント、競技会開始式及び表彰式をいう。以下同じ。）については、県の「第77回国民体育大会式典基本方針」及び「式典基本構想」を踏まえ、大会にふさわしい運営を図る。

2 基本事項

(1) 炬火イベント

炬火イベントは、開催機運を高めるために、本市の特色を活かし、市民が親しみを持てるよう、創意工夫を凝らして実施する。

(2) 競技会開始式

競技会開始式は、実施の有無を競技団体と協議し、実施する場合にあつては競技運営に支障のないよう簡素化に努める。

(3) 表彰式

表彰式は、選手の健闘を心からたたえる場となるよう、競技団体、市民等と協力して実施する。

(4) 式典音楽

式典で使用する音楽は、CD等の活用を図るなど簡素化に努める。

炬火：オリンピックの聖火に当たるもので、採火した火はリレーされるなどして総合開会式において一つに集火され、炬火台に点火される。

いちご一会とちぎ国体

第77回 国民体育大会

夢を感動へ。感動を未来へ。2022



式典基本構想



平成30年2月13日

令和元年8月5日改正

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会

目 次

式典基本構想策定にあたって	1
1 大会の概要	2
2 式典の概要	4
3 総合開・閉会式等の概要	
(1) 総合開会式	5
(2) 総合閉会式	6
(3) 冬季大会競技会開始式	7
(4) 各競技会の表彰式	7
(5) 大会旗・炬火リレー	8
4 式典に係る今後のスケジュール	9
5 参考資料等	10

式典基本構想策定にあたって

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を目指し、地方スポーツの振興と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

栃木県では、昭和 55 (1980) 年開催の「栃の葉国体」以来 42 年ぶりとなる平成 34 (2022) 年に、第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」を開催することとなりました。

栃木県で 2 度目の開催となる国体は、「オリンピック・レガシー（遺産）を生かし、県民総力を挙げて、栃木の魅力・実力を世界に発信」を基本目標として定め、「県民総参加で感動を創出する国体」「栃木の魅力を世界に発信する国体」「生涯にわたりスポーツ活動を推進する国体」「地域スポーツの活性化につながる国体」の 4 つの項目を大きな柱として、国体の成功に向けて取り組んで参ります。

特に、総合開・閉会式をはじめとする式典は、栃木の自然や歴史・文化を県内外に発信できる絶好の機会であることから、県民総参加のもと、来県者を温かく迎え、地域の特色を生かしたおもてなしをすることで、栃木の魅力・実力を全国にアピールする場にしたいと考えています。

この式典基本構想は、平成 28 (2016) 年に策定した式典基本方針を踏まえた上で、式典に関する基本的な考え方を明らかにするもので、「いちご一会とちぎ国体」における式典全体の共通指針として、策定します。



昭和 55 (1980) 年「栃の葉国体」

(株)新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用

1 大会の概要

大会名

第77回 国民体育大会

大会愛称

いちご^{いちえ}会 とちぎ国体

「いちご」の生産量が半世紀にわたって日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる国体に参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで新たな夢や感動が生まれることを目指します。

スローガン

夢を感動へ。感動を未来へ。

アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、大会に参加するすべての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。

マスコット



プロフィール

<u>なまえ</u>	<u>「とちまるくん」</u>
<u>うまれたところ</u>	<u>栃木県庁前のトチノキ</u>
<u>たんじょうび</u>	<u>11月11日</u>
<u>せいかく</u>	<u>ちょっとやんちゃな 頑張り屋さん</u>
<u>とくいなこと</u>	<u>とちまるくん体操、 かけっこ</u>
<u>ゆめ</u>	<u>栃木県の「元気」と「ニ ニコ」で全国のお友だ ちを笑顔にすること</u>

開催時期

冬季大会：令和4(2022)年1月下旬（7日間）

本大会：令和4(2022)年10月1日～11日の11日間

実施競技

正式競技（37競技）

冬季大会の正式競技（2競技）

特別競技（1競技）

公開競技（5競技）

デモンストラレーションスポーツ(31競技)

2 式典の概要

式典は、総合開・閉会式、各競技会の表彰式、大会旗・炬火リレーで構成します。

国民体育大会開催基準要項並びに第77回国民体育大会開催基本構想及び第77回国民体育大会式典基本方針に定められた内容を踏まえ、オリンピック・レガシーを生かし、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体」にふさわしい式典を目指します。

(1) 式典テーマ **夢を感動へ。感動を未来へ。**

(2) 式典の基本的な考え方

① 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典

- ・ 県民をはじめ、参加するすべての人々が協力し、全員で感動を共有できる式典を目指します。
- ・ 簡素化に努めながらも、工夫を凝らして創り上げることで、記憶に残る式典を目指します。

② 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典

- ・ 栃木の美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化を取り入れることで、本県の魅力を全国に発信する式典を目指します。
- ・ 県民がふるさとの魅力を再認識するとともに、その魅力に誇りをもつことができる式典を目指します。

③ 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

- ・ 県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、栃木県民の温かさが伝わる式典を目指します。
- ・ 参加するすべての人々の絆を深め、来県者と栃木との本物の出会いを演出する式典を目指します。

3 総合開・閉会式等の概要

(1) 総合開会式

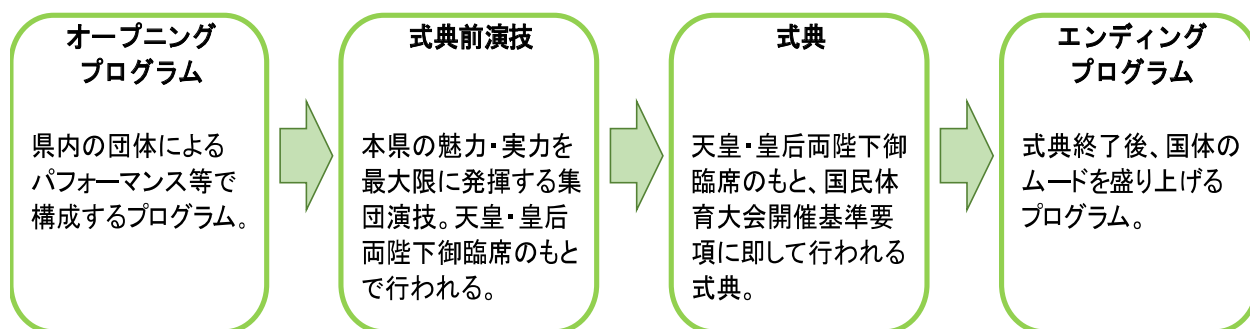
① 開催会場 栃木県総合運動公園（仮称 新スタジアム）

② 基本的な考え方

- 選手一人一人が抱く、国体に懸ける思いや夢を表現し、これから始まる熱戦への期待感を高める内容とします。
- 栃木の自然や歴史・文化を生かした内容で、会場全体を盛り上げるとともに、栃木の魅力を全国へ発信する内容とします。
- 次の世代を担う子どもたちをはじめ、すべての県民にスポーツの素晴らしさを広め、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつくきっかけになる内容とします。

③ 構成及び展開イメージ

オープニングプログラム、式典前演技、式典、エンディングプログラムで構成



④ 総合開会式における式典の流れ（次第）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 開会宣言（栃木県知事）
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 6 栃木県旗・都道府県旗・会場地市町村旗掲揚
- 7 天皇杯・皇后杯返還
- 8 大会会長あいさつ（日本スポーツ協会会長）
- 9 文部科学大臣あいさつ
- 10 天皇陛下のお言葉
- 11 炬火入場・点火
- 12 選手代表宣誓
- 13 閉式通告



※ 次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

(2) 総合閉会式

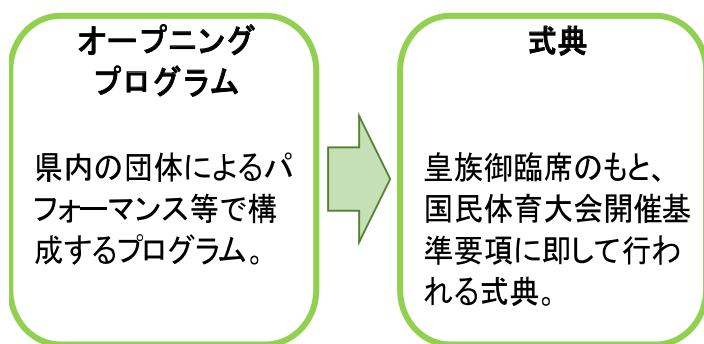
① 開催会場 栃木県総合運動公園（仮称 新スタジアム）

② 基本的な考え方

- ・ 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、大会に関わった全ての人への感謝を表現した内容にします。
- ・ 大会の中で生まれた一期一会の出会いを大切に、絆をさらに深める式典にします。
- ・ 「いちご一会とちぎ国体」での多くの感動を振り返るとともに、その感動を第22回全国障害者スポーツ大会や、第78回国民体育大会へつなげる式典にします。

③ 構成及び展開イメージ

オープニングプログラム、式典で構成



④ 総合閉会式における式典の流れ（次第）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 天皇杯・皇后杯授与
- 6 大会会長あいさつ（日本スポーツ協会会長）
- 7 スポーツ庁長官あいさつ
- 8 栃木県旗・都道府県旗・会場地市町村旗降納
- 9 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
- 10 国旗降納
- 11 炬火分火・納火
- 12 国体旗引継
- 13 次期開催県旗掲揚
- 14 閉会宣言（栃木県知事）
- 15 閉式通告



※ 次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

(3) 冬季大会競技会開始式

① 開催会場 未定

② 基本的な考え方

- ・ 総合開会式の基本的な考え方を踏襲し、「いちご一会とちぎ国体」の幕開けにふさわしい内容にします。

③ 構成及び展開イメージ

歓迎アトラクション、式典で構成

④ 開始式における式典の流れ（次第）

- 1 競技会開始宣言
- 2 国旗掲揚
- 3 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 4 栃木県旗・会場地旗掲揚
- 5 大会会長トロフィー返還
- 6 日本スポーツ協会会長または文部科学省あいさつ
- 7 競技会会長（中央競技団体）あいさつ
- 8 歓迎のことば
- 9 選手代表宣誓

※ 次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に発表します。

(4) 各競技会の表彰式

基本的な考え方

- ・ 全力を尽くした選手の健闘を称え、参加者同士で感動を分かち合うとともに、関わったすべての人が達成感や清々しさを感じられる内容とします。
- ・ 簡素な中にも、地域の特色を生かした内容とします。

～参考：国民体育大会開催基準要項細則（抜粋）～

8 本則第20項第5号（各競技会表彰式の要領）

各競技会の表彰式では、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

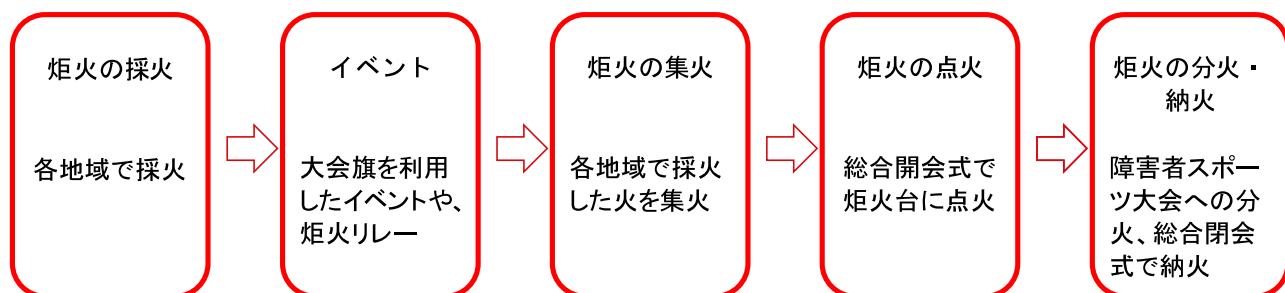
- ・ 成績発表
- ・ 表彰状授与
- ・ 大会会長トロフィー授与
- ・ 競技会会長閉会のあいさつ
- ・ 会場地代表歓送のことば
- ・ 国旗降納
- ・ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

(5) 大会旗・炬火リレー

① 基本的な考え方

- ・ 地域の歴史・伝統・文化を生かすことで、郷土意識を高める内容とします。
- ・ 子どもからお年寄りまで、幅広い年代の県民が参加することで、国体に向けた機運を高めます。
- ・ 県民や選手の心に刻まれる内容となるよう、工夫します。

② 展開イメージ



4 式典に係る今後のスケジュール

	平成30(2018)～31(2019)年度 (開催4～3年前)	平成32(2020)年度 (開催2年前)	平成33(2021)年度 (開催1年前)	平成34(2022)年度 (開催年)
全体計画	式典基本計画 策定	式典実施計画 策定	式典実施要項 策定	総合練習会・総合リハーサル実施 いちご一会とちぎ国体 本大会
式典運営	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの基本的な考え方、構成 ・エンディングプログラムの基本的な考え方、構成 ・炬火リレーの基本方針、実施市町村の意向調査ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの内容、時間配分、構成計画 ・エンディングプログラムの内容、時間配分、構成計画 ・炬火リレーの演出、入場・点火計画 ・全体のタイムテーブルほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの演目、出演団体 ・エンディングプログラムの演目、出演団体 ・炬火リレーの演出、採火・点火方法ほか 	
式典音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の基本的な考え方 ・使用曲の構想 ・音楽隊編成の検討ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の使用曲、時間配分、演奏形態 ・音楽隊の編成、人数ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の演奏時間、使用曲名、作編曲名、指揮者選定、音楽出演団体ほか 	
式典演技	<ul style="list-style-type: none"> ・式典演技の基本的な考え方、展開、構想 ・出演団体の編成計画ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典演技の構成、内容 ・出演団体の選定、構想 ・音響、映像の計画ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典演技の出演者、演技内容、演技での使用用具、服飾、デザインほか 	

5 参考資料等

第 77 回国民体育大会 式典基本方針

(平成 29 (2017) 年 2 月 13 日 第 8 回常任委員会決定)

第 77 回国民体育大会の式典は、国民体育大会開催基準要項(以下「基準要項」という。)及び第 77 回国民体育大会開催基本方針並びに第 77 回国民体育大会開催基本構想を踏まえ、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典とする。
- (2) 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典とする。
- (3) 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典とする。

2 式典の構成

式典は、国民体育大会の総合開・閉会式、各競技会の表彰式及び大会旗・炬火リレーで構成する。

- (1) 総合開会式・総合閉会式
総合開会式及び総合閉会式は、基準要項第 19 項第 3 号に規定する各項目及び基準要項第 19 項第 4 号に規定する集団演技並びに役員・選手団入退場で構成する。
- (2) 各競技会表彰式
各競技会表彰式は、基準要項第 19 項第 5 号及び同細則第 7 項の規定する各項目で構成する。
- (3) 大会旗・炬火リレー
大会旗・炬火リレーは、炬火採火、大会旗・炬火リレー及び炬火集火で構成する。

3 式典の企画・運営

- (1) 総合開会式・総合閉会式
総合開・閉会式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備(実行)委員会が企画し、第 77 回国民体育大会栃木県実施本部(仮称)が運営に当たる。
- (2) 各競技会表彰式
各競技会の表彰式は、第 77 回国民体育大会栃木県準備(実行)委員会が別に定める要項に基づき、会場地市町村準備(実行)委員会が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。
- (3) 大会旗・炬火リレー
大会旗・炬火リレーについては、別に定める要項に基づくものとする。

第 77 回国民体育大会開催基本構想（抜粋）

（平成 27（2015）年 11 月 5 日 第 4 回常任委員会決定）

第 2 章 第 77 回国民体育大会の基本目標と目指す方向

1. 第 77 回国民体育大会の基本目標

オリンピック・レガシー（遺産）を生かし、
県民総力を挙げて、栃木の魅力・実力を世界に発信

平成 32（2020）年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の 2 年後となる好機を生かし、ハード・ソフト両面のオリンピック・レガシー（遺産）を可能な限り受け継ぎながら、国内最大のスポーツの祭典として、全ての県民が総力を結集し、本県の魅力・実力を国内外に積極的に発信する大会となることを基本目標として定めます。

また、基本目標の実現に向けて、次の 4 つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

2. 栃木県が目指す国体

取組 1 県民総参加で感動を創出する国体

全県民が総力を挙げて、郷土を代表する競技者を応援するとともに、競技会等を「する」「みる」「支える」といった関わりを持つことで、県民総参加の大会を目指します。

取組 2 栃木の魅力を世界に発信する国体

本県の豊かな自然と地域の特色を活かし、観光・歴史・文化的事業の推進を図りながら地域の絆を深め、本県を訪れる人々を「おもてなしの心」で温かく迎える大会を目指します。

取組 3 生涯にわたりスポーツ活動を推進する国体

指導者の養成や選手の育成など、競技力の向上を図りながら、すべての県民にスポーツの喜びを広め、健康増進と体力向上を推進し、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつく大会を目指します。

取組 4 地域スポーツの活性化につながる国体

競技会の開催に当たっては、県・市町村施設を有効に活用するとともに、開催される競技が会場となる市町村に普及し、地域に根付くような大会を目指します。

国民体育大会開催基準要項（抜粋）

（平成 30（2018）年 4 月 1 日 公益財団法人日本スポーツ協会）

2 0 大会の式典

【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として 60 分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

総合開会式 開会宣言
国旗掲揚
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚
天皇杯・皇后杯返還
大会会長あいさつ
文部科学大臣あいさつ
天皇陛下お言葉
炬火点火
選手代表宣誓

総合閉会式 成績発表
表彰状授与
天皇杯・皇后杯授与
大会会長あいさつ
スポーツ庁長官あいさつ
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
国旗降納
炬火納火
国体旗引継
次期開催県旗掲揚
閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第 8 項により実施することができる。

【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

2 1 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。
- (3) 本大会の開催期間を除き、国体旗の保管は、日本スポーツ協会が行う。

2 2 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

2022

いちご一^{いちえ}会とちぎ国体
いちご一^{いちえ}会とちぎ大会

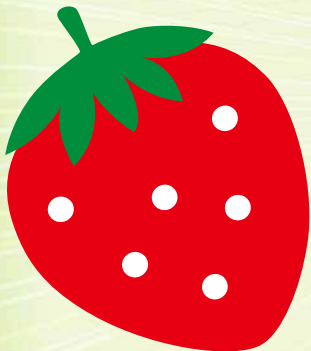
第77回 国民体育大会

第22回 全国障害者スポーツ大会

夢を感動へ。感動を未来へ。

いちご一^{いちえ}会とちぎ国体・とちぎ大会

式典基本計画



式典基本計画 目 次

式典基本計画策定にあたって	1
1 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の概要	2
2 式典の概要	
(1) 式典テーマ	4
(2) 式典の基本的な考え方	4
3 総合開会式・開会式	
(1) 基本的な考え方	5
(2) 次第	5
(3) オープニングプログラムの基本的な考え方	6
(4) エンディングプログラムの基本的な考え方	6
4 総合閉会式・閉会式	
(1) 基本的な考え方	7
(2) 次第	7
(3) オープニングプログラムの基本的な考え方	8
(4) ファイナルステージの基本的な考え方	8
5 式典演技（式典前演技、歓迎演技）	
(1) 基本的な考え方	9
(2) 演技構成上の留意点	9
6 式典音楽	
(1) 基本的な考え方	10
(2) 音楽隊編成の構想	10
(3) 使用曲の構想	11
7 冬季大会競技会開始式	
(1) 基本的な考え方	12
(2) 次第	12
8 各競技会の表彰式	
(1) 内容	13
(2) 実施上の留意点	13
(3) その他	13
9 炬火イベント	
(1) 基本的な考え方	14
(2) 炬火イベント基本方針	14

式典基本計画策定にあたって

第77回の国民体育大会（以下「国体」という。）が、令和4（2022）年に本県で開催されることが正式に決定しました。本県での開催は、昭和55（1980）年の「栃の葉国体」以来42年ぶりとなります。また、第22回の全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）についても、同年に本県で開催されることとなりました。

本県は国体の愛称を「いちご一会とちぎ国体」、障スポの愛称を「いちご一会とちぎ大会」と定め、「夢を感動へ。感動を未来へ。」という「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」共通のスローガンのもと、「県民総参加で感動を創出する」「栃木の魅力を世界に発信する」「生涯にわたリスポーツ活動を推進する」「地域スポーツの活性化につなげる」の4つの項目を大きな柱とした、様々な取組を行い、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の成功を目指します。

なかでも、総合開・閉会式をはじめとする式典は、栃木の美しい自然や優れた歴史・文化を全国から訪れる人々に発信する絶好の場となります。そこで、全県民が総力を挙げて、来県者を温かく迎え、地域の特徴を生かした心のこもったおもてなしをすることで、交流を深め、新たな夢や感動と喜びを共有する場とするとともに、本県の未来を創造する機会としていきたいと考えています。

この式典基本計画は、「式典基本方針」及び「式典基本構想」を踏まえた上で、式典の具体的な内容について基本的な考え方を明示し、今後の式典準備の円滑な推進を図るために策定するものです。



昭和55(1980)年「栃の葉国体」 (株)新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用

1 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の概要

大会名

第77回 国民体育大会
第22回 全国障害者スポーツ大会

大会愛称

いちごいちえ会 とちぎ国体
いちごいちえ会 とちぎ大会

「いちご」の生産量が半世紀にわたって日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる国体や障スポに参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで、新たな夢や感動が生まれることを目指します。

スローガン 夢を感動へ。感動を未来へ。

アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、国体や障スポに参加する、すべての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。

マスコット



↑ 国体とちまるくん

プロフィール

なまえ	「とちまるくん」
うまれたところ	栃木県庁前のトチノキ
たんじょうび	11月11日
せいかく	ちょっとやんちゃな 頑張り屋さん
とくいなこと	とちまるくん体操、かけっこ
ゆめ	栃木県の「元気」と「ニコニコ」 で全国のお友だちを笑顔に すること

開催時期

●第77回国民体育大会

冬季大会：令和4（2022）年1月24日（月）～30日（日）【7日間】

本大会：令和4（2022）年10月1日（土）～11日（火）【11日間】

総合開会式：令和4（2022）年10月1日（土）

総合閉会式：令和4（2022）年10月11日（火）

総合開・閉会式会場：栃木県総合運動公園陸上競技場

●第22回全国障害者スポーツ大会

令和4（2022）年10月29日（土）～31日（月）【3日間】

開会式：令和4（2022）年10月29日（土）

閉会式：令和4（2022）年10月31日（月）

開・閉会式会場：栃木県総合運動公園陸上競技場

実施競技

●第77回国民体育大会

正式競技（37競技） 冬季大会の正式競技（2競技）

特別競技（1競技）

公開競技（5競技）

デモンストラレーションスポーツ（31競技）

●第22回全国障害者スポーツ大会

正式競技（14競技）

オープン競技（2競技）

イメージソング

作品名：「いちご一会」

作詞・作曲／笠木 敦志

歌／サトウ ヒロコ（壬生町出身 シンガーソングライター）

ダンス：振付者／山田リズム体操クラブ代表 山田 喜美江（栃木県女子体育連盟）

2 式典の概要

式典は、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開・閉会式、冬季大会競技会開始式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。国体と障スポの連携を図り、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」にふさわしい式典を目指します。

(1) 式典テーマ **夢を感動へ。感動を未来へ。**

(2) 式典の基本的な考え方

① 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典

- ・県民をはじめ、参加するすべての人々が協力し、全員で感動を共有できる式典を目指します。
- ・簡素化に努めながらも、工夫を凝らして創り上げることで、記憶に残る式典を目指します。

② 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典

- ・栃木の美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化を取り入れることで、本県の魅力を全国に発信する式典を目指します。
- ・県民がふるさとの魅力を再認識するとともに、その魅力に誇りをもつことができる式典を目指します。

③ 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

- ・県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、栃木県民の温かさが伝わる式典を目指します。
- ・参加するすべての人々の絆を深め、来県者と栃木との本物の出会いを演出する式典を目指します。

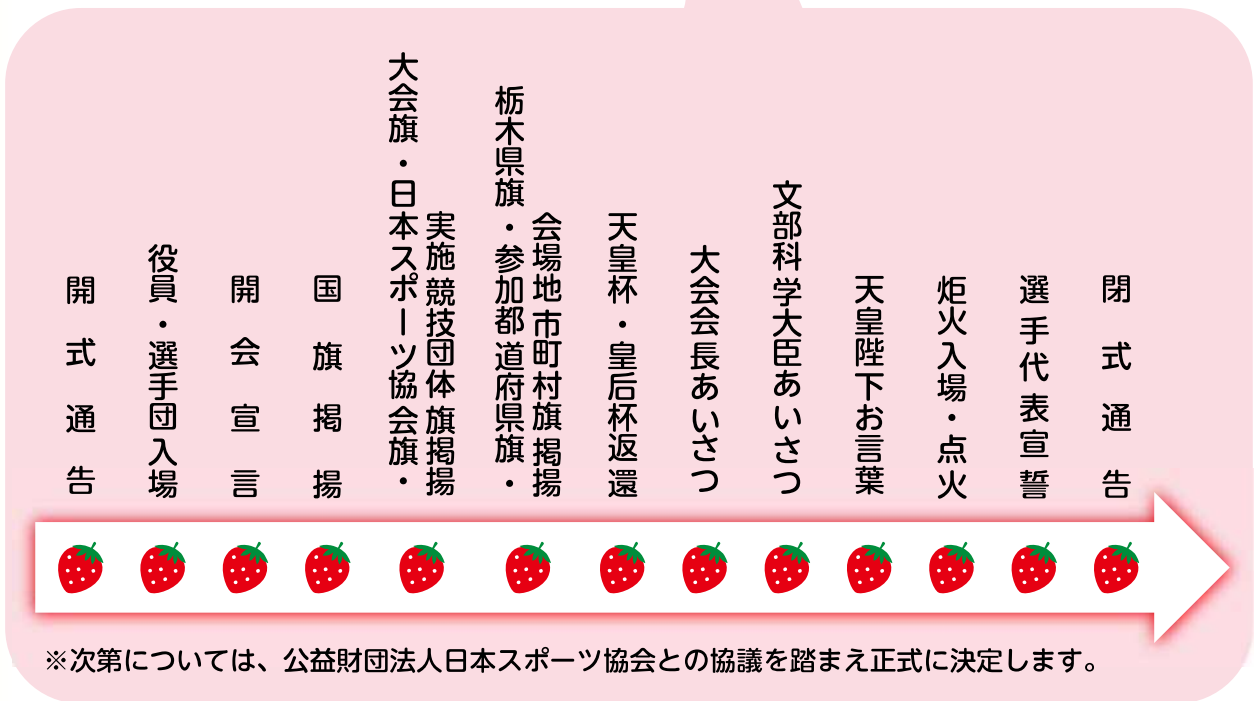
3 総合開会式・開会式

(1) 基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 選手一人ひとりが抱く、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」それぞれに懸ける思いや夢を表現し、これから始まる熱戦への期待感を高める内容とします。
- ② 栃木の自然や歴史・文化を生かした内容で、会場全体を盛り上げ、栃木の魅力を全国へ発信する内容とします。
- ③ 次の世代を担う子どもたちをはじめ、すべての県民にスポーツの素晴らしさを広め、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつくきっかけになる内容とします。

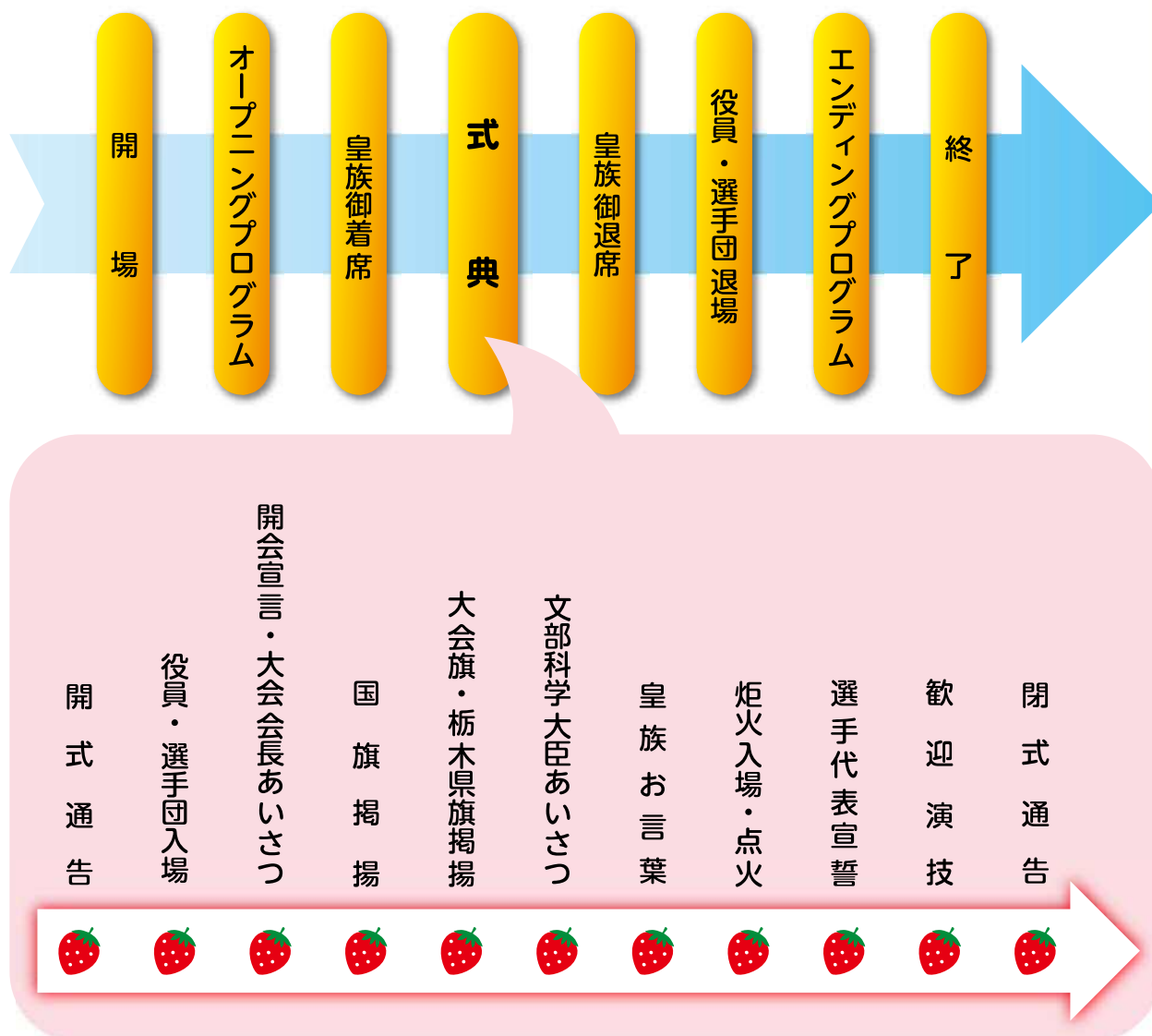
(2) 次第

ア いちご一会とちぎ国体 総合開会式



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

イ いちご一会とちぎ大会 開会式



(3) オープニングプログラムの基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 多彩な出演団体によって「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動と喜びを共有できるような内容とします。
- ② 多くの県民が参加し、出演者や観覧者が楽しい時間を共有し、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」への期待感や応援ムードが高まるような内容とします。
- ③ 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開幕を飾るにふさわしい内容とします。

(4) エンディングプログラムの基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 観覧者に式典の余韻等を楽しんでいただくとともに、これから始まる競技会への期待が高まるよう、創意工夫を凝らした内容とします。
- ② 式典終了後、会場周辺の混雑緩和と、役員・選手団や観覧者等がスムーズに退場できるよう配慮します。

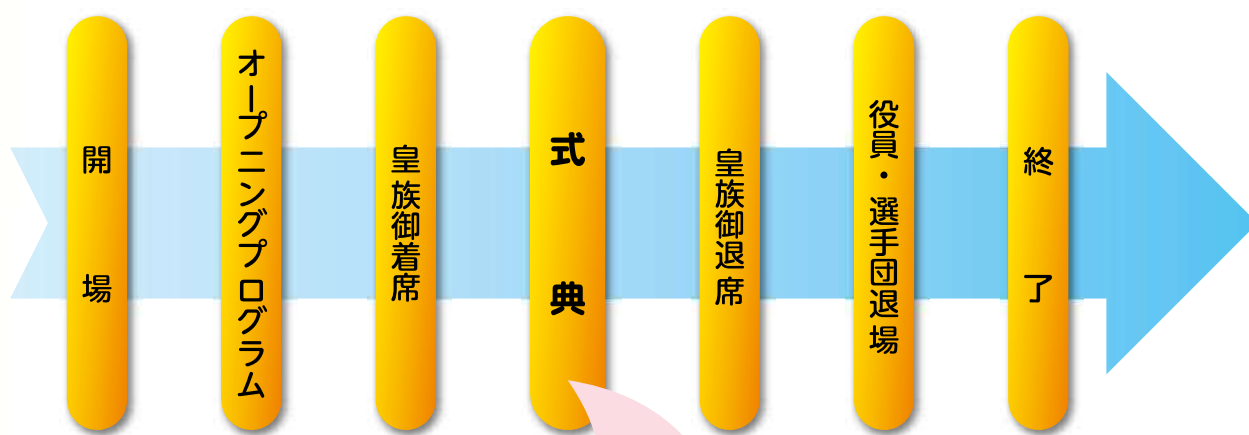
4 総合閉会式・閉会式

(1) 基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に関わったすべての人への感謝を表現した内容にします。
- ② 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の中で生まれた一期一会の出会いを大切に、絆をさらに深める式典にします。
- ③ 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」での多くの感動を振り返るとともに、その感動を第78回国民スポーツ大会や、第23回全国障害者スポーツ大会へつなげる式典にします（国民体育大会は国民スポーツ大会に名称変更されます）。

(2) 次第

ア いちご一会とちぎ国体 総合閉会式

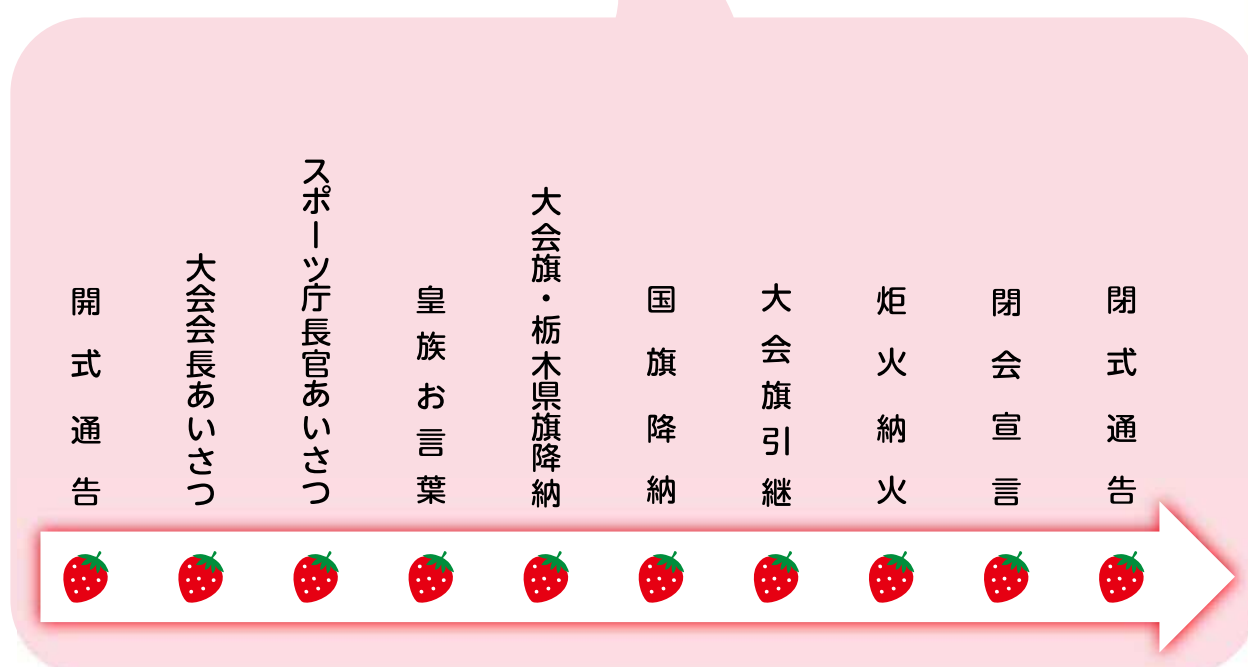


- | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------|------|-------|-----------|----------|-------------|------------------------|-------------------------|------|---------|-------|--------|------|------|
| 開式通告 | 役員・選手団入場 | 成績発表 | 表彰状授与 | 天皇杯・皇后杯授与 | 大会会長あいさつ | スポーツ庁長官あいさつ | 栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗降納 | 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納 | 国旗降納 | 炬火分火・納火 | 国体旗引継 | 佐賀県旗掲揚 | 閉会宣言 | 閉式通告 |
|------|----------|------|-------|-----------|----------|-------------|------------------------|-------------------------|------|---------|-------|--------|------|------|



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

イ いちご一会とちぎ大会 閉会式



(3) オープニングプログラムの基本的な考え方（国体・障スポ共通）

- ① 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に関わったすべての方々への感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ② 「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動できる内容とします。
- ③ 「いちご一会とちぎ国体」の総合閉会式では、「いちご一会とちぎ大会」への期待が高まるような内容とします。

(4) ファイナルステージの基本的な考え方（障スポのみ）

- ① 「いちご一会とちぎ大会」のフィナーレを飾るにふさわしい内容とします。
- ② 「いちご一会とちぎ大会」を通じて生まれた一期一会の出会いを大切に、絆がさらに深まり、達成感や喜びを感じられ、心に残るような内容とします。

5 式典演技（式典前演技・歓迎演技）

（1）基本的な考え方

- ① 参加するすべての人が感動し、これから始まる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」への期待感を高める演技構成とします。
- ② 栃木県の自然や歴史・文化などを取り入れ、「栃木の魅力」を感じることのできる演技構成とします。
- ③ 全国から来県した人々に「おもてなし」の気持ちが伝わり、参加するすべての人々が、「つながり」を感じることができる演技内容とします。

（2）演技構成上の留意点

- ① 「栃木の魅力」がわかりやすく伝わる構成とします。
- ② 「いちご一会とちぎ国体」と「いちご一会とちぎ大会」の連携を図り、演出を共有します。



昭和55(1980)年「栃の葉国体」 (株)新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用

6 式典音楽

(1) 基本的な考え方

- ① すべての参加者の記憶に残り、全員で感動を共有することのできる式典音楽を目指します。
- ② 使用楽曲においては、栃木にゆかりのある楽曲を取り入れて構成することで、県民がふるさとの魅力を再認識する式典音楽を目指します。
- ③ 心温まる式典音楽で迎え、来県者と栃木との本物の出会いを演出します。
- ④ 「いちご一会とちぎ国体」と「いちご一会とちぎ大会」の連携を図り、式典音楽及び式典音楽隊を共有します。

(2) 音楽隊編成の構想

① 音楽隊の編成人数

楽 隊 別	人 数
吹 奏 楽 隊	150名程度
合 唱 隊	200名程度
合 計	350名程度

② 音楽隊の編成基準

(共通基準)

- ア 式典音楽隊への参加意思をもつ団体とする。
- イ 日常的な活動が活発で、一定の演奏水準が維持でき、指導者と練習会場を継続的に得ることのできる団体とする。
- ウ 各種練習会、リハーサル、総合開会式・閉会式等への参加が可能であり、かつ地理的・時間的条件が整う団体とする。
- エ 中学校・高等学校等の出演においては学校長の承認が得られ、引率等の人員の確保ができる団体とする。大学・職場一般においては所属長等の承認が得られる団体とする。

(部門別基準)

- ア 吹奏楽隊
栃木県吹奏楽連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。
- イ 合唱隊
栃木県合唱連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。



(3) 使用曲の構想

【総合開会式・開会式】

場 面	いちご一会とちぎ国体	いちご一会とちぎ大会
開 式 通 告	ファンファーレⅠ	
役 員・選 手 団 入 場	入退場行進曲	
開 会 宣 言	ファンファーレⅡ	
国 旗 掲 揚	「君が代」	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚	「若い力」	—
大 会 旗 掲 揚	—	「空よ大地よ」
栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗掲揚	栃木県民の歌	
天皇杯・皇后杯返還	得賞歌	—
炬 火 入 場・点 火	炬火関連曲Ⅰ	
選 手 代 表 宣 誓	ファンファーレⅢ	
閉 式 通 告	ファンファーレⅣ	
役 員・選 手 団 退 場	入退場行進曲	

【総合閉会式・閉会式】

場 面	いちご一会とちぎ国体	いちご一会とちぎ大会
開 式 通 告	ファンファーレⅠ	
役 員・選 手 団 入 場	入退場行進曲	
表 彰 状 授 与 天皇杯・皇后杯授与	得賞歌	—
栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗降納	栃木県民の歌	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納	「若い力」	—
大 会 旗 降 納	—	「空よ大地よ」
国 旗 降 納	「君が代」	
炬 火 分 火・納 火	炬火関連曲Ⅱ	
国 体・大 会 旗 引 継	佐賀県が指定する曲	
次 期 開 催 県 旗 掲 揚	佐賀県が指定する曲	—
閉 会 宣 言	ファンファーレⅤ	
閉 式 通 告	ファンファーレⅣ	
役 員・選 手 団 退 場	入退場行進曲	

7 冬季大会競技会開始式

(1) 基本的な考え方

総合開会式・開会式の基本的な考え方を踏襲し、秋に開催される本大会へと繋がる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の幕開けにふさわしい内容にします。

(2) 次第

いちご一会とちぎ国体冬季大会競技会開始式



閉式通告

選手代表宣誓

歓迎のことば

中央競技団体あいさつ

スポーツ庁あいさつ
日本スポーツ協会・

大会会長トロフィー返還

会場地市町村旗掲揚
栃木県旗・参加都道府県旗・

大会旗・日本スポーツ協会旗・
実施競技団体旗掲揚

国旗掲揚

競技会開始宣言

開式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

8 各競技会の表彰式

「いちご一会とちぎ国体」における各競技会の表彰式については、「国民体育大会開催基準要項」及び「同細則」に基づき、会場地市町村実行委員会等が関係競技団体と協議の上、次のとおり実施することができるものとします。

(1) 内容

各競技会の表彰式は、概ね次のとおりとします。

- ① 開式通告
- ② 成績発表
- ③ 表彰状授与
- ④ 大会会長トロフィー授与
- ⑤ 競技会会長閉会のあいさつ
- ⑥ 会場地代表歓送のことば
- ⑦ 国旗降納
- ⑧ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納
- ⑨ 競技会終了宣言
- ⑩ 閉式通告

(2) 実施上の留意点

- ① 表彰式の実施に当たっては、種目、種別ごとの表彰も含め、簡素化に努めるものとします。
- ② 表彰式の内容、所要時間は、選手のコンディションを配慮したものとします。
- ③ 1競技が複数会場地市町村にわたる場合は、当該市町村実行委員会等と競技団体が十分協議の上、実施します。
- ④ 大会会長トロフィーは、表彰式において授与するまでの間、表彰式を実施する会場地市町村実行委員会等が責任を持って保管します。
- ⑤ 特別競技及びデモンストレーションスポーツの表彰式については、上記(1)に準じます。ただし、大会会長トロフィー授与は除きます。
- ⑥ 公開競技は中央競技団体が表彰式の内容等を決定します。

(3) その他

この取扱いに定めるもののほか、表彰式の実施に必要な事項については、会場地市町村実行委員会等と競技団体及び関係機関で協議の上、別に定めることとします。

9 炬火イベント

「炬火」は、国体マークに象徴されるとおり国体のシンボルであり、国体の総合開会式で会場内の炬火台に点火されます。障スポにも引き継がれ、大会期間中、選手の活躍を見守り続けます。

開催年には炬火イベントも実施され、幅広い年代の県民が参加することで、国体及び障スポの開催に向けた機運醸成を図るとともに、地域の連帯感や郷土意識を深めるのに重要な役割を担っています。

(1) 基本的な考え方

- ① 地域の歴史・伝統・文化を生かすことで、郷土意識を高める内容とします。
- ② 子どもからお年寄りまで、幅広い年代の県民が参加することで、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に向けた機運を高めます。
- ③ 県民や選手の心に刻まれる内容となるよう、工夫します。

(2) 炬火イベント基本方針

- ① 炬火は、県内全市町で採火を行い、保管します。
- ② 採火した炬火は、各市町が実施する催しで活用することができます。
- ③ 炬火イベントは、多くの県民が参加できる内容とします。
- ④ 実施にあたっては、簡素・効率化を心がけながらも、地域の特色を生かしたイベントになるよう、工夫を凝らしたものとします。
- ⑤ 全市町で採火した炬火を一つに集火し、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の総合開会式・開会式において炬火台に点火します。



会場案内

いちご一会とちぎ国体

- 正式競技 / 37競技
- 特別競技 / 1競技
- 公開競技 / 5競技
- デモンストレーションスポーツ / 31競技
- 冬季大会正式競技 / 2競技

いちご一会とちぎ大会

- 正式競技 / 14競技
- オープン競技 / 2競技

宇都宮市

- 陸上競技
- 水泳(競泳)
- 水泳(飛込)
- 水泳(アーティスティックスイミング)
- サッカー
- テニス
- バレーボール(6人制)
- 体操(体操競技)
- バスケットボール
- 自転車(トラックレース)
- 軟式野球
- 柔道
- 弓道
- ライフル射撃
- 剣道
- 高等学校野球
- 陸上競技(陸・知)
- 水泳(身・知)
- フェムレスリング
- 3x3
- 開・閉会式会場
- 栃木県総合運動公園
- 陸上競技場(新スタジアム)

那須塩原市

- サッカー
- ソフトテニス
- 馬術
- ゴルフ
- トライアスロン
- ポッチャ(身)
- キッズトライアスロン
- さいかつぼーる

那須町

- 自転車(ロードレース)
- エアロビック

大田原市

- 相撲
- ソフトボール
- バドミントン
- ソフトボール(知)
- 綱引
- スポーツチャンバラ
- ダンススポーツ
- リレーマラソン

那珂川町

- ゲートボール
- 3B体操

高根沢町

- グラウンドゴルフ
- カラーリング
- ペタンク

市貝町

- 水泳(オープンウォータースイミング)
- フライングディスク

芳賀町

- パワーリフティング
- ママさんバレーボール

茂木町

- 体操(トランポリン)
- ふれあいトランポリン

益子町

- サッカー
- 軟式野球
- ウォーキング

下野市

- サッカー
- ハンドボール
- キンボールスポーツ

真岡市

- 水泳(水球)
- 体操(新体操)
- ウエイティング
- 軟式野球
- 空手道
- 車いすバスケットボール(身)
- フォークダンス

足利市

- バレーボール(ビーチバレー)
- レスリング
- ソフトボール
- ボウリング
- ボウリング(知)
- フットベースボール(知)
- スポーツウエルネス吹矢
- パークゴルフ

栃木市

- ボート
- ハンドボール
- カヌー(スプリント)
- なぎなた
- ラグビーフットボール
- バレーボール(備)
- クリケット
- ドッジボール
- フライングディスク(身・知)
- 車椅子ダンス(身)

野木町

- ハンドボール
- バウンドテニス

壬生町

- ターゲット・バードゴルフ
- スポーツクライミング
- 銃剣道

上三川町

- フェンシング
- スポンジ・フェンシング

小山市

- 水泳(水球)
- 体操(新体操)
- ウエイティング
- 軟式野球
- 空手道
- 車いすバスケットボール(身)
- フォークダンス

鹿沼市

- バレーボール(6人制)
- 卓球
- 卓球(身・知) [サウンドテーブルテニス(身)を含む]
- ウォーキング
- 武術太極拳

佐野市

- バレーボール(6人制)
- ラグビーフットボール
- バレーボール(備)
- クリケット
- ドッジボール

日光市

- スケート(スピード)
- スケート(フィギュア)
- ホッケー
- ボクシング
- スケート(ショートトラック)
- アイスホッケー
- 軟式野球
- 風ぐるみアイスホッケー

塩谷町

- カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)

冬季大会

- スケート(スピード)
- スケート(フィギュア)
- ホッケー
- ボクシング
- スケート(ショートトラック)
- アイスホッケー
- 軟式野球
- 風ぐるみアイスホッケー

身=身体障害者が出場できる競技
知=知的障害者が出場できる競技
精=精神障害者が出場できる競技

令和2(2020)年4月1日現在



いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会



イメージソング

「いちご一会」

笠木 敦志 作詞・作曲

一 夢を感動へ 感動を未来へ 心をひとつに

夢は分かち合える トキメキを胸に 情熱を大地に

空を突き抜けて 風を追い越して

いちご一会 この瞬間 思いを馳せた

舞台が今ここに 花は可憐に

滝はまぶしく 君は輝け

※VERY VERY GOOD BERRY BERRY とちぎ

(2回繰り返し)

二 夢を感動へ 感動を未来へ どんな人だって

つまづく事もある だけどくじけずに

そして繰り返し 一つずつ登る 想いを重ねて

いちご一会 この瞬間 真っ赤になった

情熱解き放て 緑あふれて

風はきらめき 君は輝け

※繰り返し

時は過ぎても 忘れはしない この感動を

※繰り返し



栃木県総合運動公園陸上競技場
(新スタジアム)完成イメージ



いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局
(栃木県国体・障害者スポーツ大会局内)

〒320-0851 栃木県宇都宮市埴田1-1-20
HP <https://www.tochigikokutai2022.jp/>
TEL 028-623-3508 FAX 028-623-3527

2022とちぎ国体

検索



審議第3号

いちご一会とちぎ国体下野市炬火イベント実施計画（案）

1 目的

市民総参加の意識の高揚と「いちご一会とちぎ国体」（以下「国体」という。）に向けた機運醸成を図るため、いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会が実施する炬火イベントについて、必要な事項を定める。

2 実施期間

（1）採火イベント

2022年8月下旬までに行うものとする。

（2）集火イベント

2022年9月中旬までに行うものとする。

3 採火・集火方法

（1）採火イベント

市内各地区において、小中学校や各地区既存の行事等と連携し、採火を実施する。

（2）集火イベント

自主イベントを企画し、各地区の採火イベントで誕生した火を一つに集める集火イベントを実施するとともに、この集めた火を「下野市の火」とする。

4 国体総合開会式

「下野市の火」は、いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会実行委員会が実施する総合開会式において「各市町村の火」とともに炬火入場し、集火、炬火台への点火で使用される。

※令和2年度時点では県実行委員会で総合開会式の内容について調整中。集火方法については以下3パターン。

・事前イベントで集火 ・オープニングイベントで集火 ・総合開会式で集火

5 その他

この実施計画に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

審議第4号

[] キンボールスポーツ

- 1 競技名 キンボールスポーツ
- 2 期 日 令和4(2022)年 月 日 ()
- 受付 8時30分
- 開始式 9時00分
(リードアップゲームを含む)
- 競技開始 9時45分
- 表彰式 競技終了後

3 会場 下野市石橋体育センター

4 種別及び参加人員

種別	選手(監督含)	チーム数	小計	合計(人)
ジュニアの部(A)	4~8	15	120	360
ジュニアの部(B)	4~8	15	120	
フレンドリーの部	4~8	15	120	

※ 監督が選手を兼ねることができる。

5 競技方法

(1) 競技規則

国際キンボールスポーツ連盟オフィシャルルールを適用する。(一部ローカルルールを適用する。)

(2) 競技方法

ア 全ての部門で予選(各チーム3試合)を行う。上位3チームで決勝を行う。

イ 決勝戦で同点のチームが出た場合は、同点のチーム同士で3点先取の延長戦を行う。

ウ 各種別のスコアキーパーは選手が担当する。(ファミリーの部は除く)

(3) その他

ア 組み合わせは主催者が決定する。

イ 競技実施に必要な事項は別に定める。

ウ ヒットは両手打ちのみとする。

6 参加資格

- (1) 小学生以上を対象とする。
- (2) 小学生が参加する場合は、保護者又は成人の付き添いを必要とする。
- (3) 18歳未満の者が参加する場合は、保護者の同意書を提出する。
- (4) 各種別の参加資格は以下のとおりとする。
 - ア ジュニアの部 (A) : 小学1年～3年生 (男女混合可)
 - イ ジュニアの部 (B) : 小学4年～6年生 (男女混合可)
 - ウ フレンドリーの部 : 中学生以上の競技経験者 (男女混合可)

7 表彰

- (1) 各種別の優勝、準優勝、3位のチームに、賞状を授与する。
- (2) 参加者には、大会参加記念章を授与する。

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会
第3回 競技式典専門委員会

参 考 資 料



いちご一会とちぎ国体 開催準備経過について

※ は市関係分

年 度	内 容
2012年度 (平成24年度)	(公財) 栃木県体育協会が平成34年第77回国民体育大会の招致に関する要望書を県、県議会及び県教育委員会に提出
	栃木県議会が国体招致を決議
2013年度 (平成25年度)	栃木県知事・栃木県教育委員会・栃木県体育協会会長の連盟により国民体育大会開催要望書を(公財)日本体育協会及び文部科学省に提出
	(公財)日本体育協会が平成34年第77回国民体育大会の栃木県開催を了解(内々定)
2014年度 (平成26年度)	第77回国民体育大会栃木県準備委員会の設立
	第77回国民体育大会栃木県準備委員会において開催基本方針の決定
2015年度 (平成27年度)	第77回国民体育大会開催基本構想の策定
	会場地市町村第2次選定 【サッカー(少年男子)、ハンドボール(全種別)】
2016年度 (平成28年度)	第1次選定、第2次選定12競技の中央競技団体正規視察
	栃木県議会において国民体育大会開催に関する決議
	デモンストレーションスポーツ(キンボールスポーツ)開催希望申請書を栃木県に提出
	デモンストレーションスポーツ第1次選定(キンボールスポーツ)内定通知
	第77回国民体育大会愛称・スローガンの決定 【愛称】いちご一会とちぎ国体 【スローガン】夢を感動へ。感動を未来へ。
	第77回国民体育大会マスコットキャラクターの制定 「とちまるくん」
2017年度 (平成29年度)	栃木県知事、栃木県教育委員会、栃木県体育協会の連盟により国民体育大会開催申請書を(公財)日本体育協会会長及び文部科学省に提出
	(公財)日本体育協会第3回理事会において第77回国民体育大会(本大会)の開催地に栃木県が内定
2018年度 (平成30年度)	第77回国民体育大会下野市準備委員会設立発起人会
	第77回国民体育大会下野市準備委員会設立総会・第1回総会
2019年度 (令和元年度)	(公財)日本スポーツ協会理事会において第77回国民体育大会(本大会)の会期が2022年10月1日～11日に決定
	第77回国民体育大会下野市準備委員会第2回総会及びいちご一会とちぎ国体下野市実行委員会第1回総会
	(公財)日本スポーツ協会理事会において第77回国民体育大会(本大会)の競技会会期が決定
	いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会第1回専門委員会
	いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会第2回専門委員会
2020年度 (令和2年度)	いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会第1回常任委員会(専決)
	いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会第2回総会(書面議決)

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、第77回国民体育大会において、下野市で開催される競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営に関し、必要な事務及び事業を行うことを目的とする。

(所掌事項)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を行う。

- (1) 競技会の開催に必要な方針及び計画の決定に関すること。
- (2) 競技会の開催に係る準備に関すること。
- (3) 競技会の開催に必要な施設及び設備の整備に関すること。
- (4) 競技会の開催及び準備のための経費に関すること。
- (5) 関係競技団体、関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) その他、本会の目的達成に必要な事項に関すること。

第2章 組織

(組織)

第4条 本会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 下野市を代表する者
- (2) 下野市議会を代表する者
- (3) 関係競技団体、関係団体及び関係機関を代表する者
- (4) その他会長が特に必要と認める者

(役員)

第5条 本会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名

(2) 副会長 10名以内

(3) 常任委員 40名以内

(4) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 会長は下野市長をもって充てる。

2 副会長、常任委員及び監事は、総会の承認を得て、委員のうちから会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときはあらかじめ会長が指名した順序により、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、本会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから本会の目的が達成され、解散したときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属団体又は機関の役職を離れた場合は、その委員等は辞職したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等に変更があったときは、次の総会において報告する。

4 委員等は、無報酬とする。

(顧問及び参与)

第9条 本会に、顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会長が重要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 本会に、次に掲げる会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員等をもって構成する。

- 2 総会は必要に応じて会長が招集する。
- 3 総会の議長は、会長又は会長が指定した者がこれにあたる。
- 4 総会は、次に掲げる事項について審議し、議決する。
 - (1) 競技会の開催に係る基本方針等に関すること。
 - (2) 会則の制定及び改廃に関すること。
 - (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (4) 予算及び決算に関すること。
 - (5) 常任委員会に委任する事項に関すること。
 - (6) その他重要な事項に関すること。
- 5 総会は、委員等の過半数の出席がなければ開催することができない。ただし、総会に出席できない委員等は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 6 総会の議事は、出席委員等（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 7 会長は必要に応じて顧問又は参与に総会への出席を求めることができる。

(常任委員会)

第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 副委員長は副会長をもって充てる。
- 4 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。

- 6 委員長に事故あるとき、又は欠けたときは副委員長がその職務を代理する。
- 7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 総会から委任された事項に関すること。
 - (2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任事項に関すること。
 - (3) 総会を招集するいとまにない緊急の事項に関すること。
 - (4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。
- 8 前条第5項及び第6項の規定は、常任委員会について準用する。
- 9 常任委員会は、第7項の規定により審議し、決定した事項及び次条第2項の規定により専門委員から報告があった事項を次の総会に報告するものとする。
(専門委員会)

第13条 専門委員会は、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。

- 2 専門委員会は、常任委員会から委任又は付託された事項について調査、審議し、その結果を常任委員会に報告するものとする。
- 3 前2項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関して必要な事項は、常任委員会に諮った上で、会長が別に定める。
- 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

- 第14条 会長は総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で簡易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 会長は前項の規程により、専決処分をしたときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

- 第15条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

(経費)

第16条 本会の経費は、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第17条 本会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を得て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 本会の会計に関して必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解散

(解散)

第19条 本会はその目的が達成されたときに解散するものとする。

2 本会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

第8章 補足

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成30(2018)年11月12日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、令和元(2019)年8月8日から施行する。

(経過措置)

2 この会則の施行の際現に第77回国民体育大会下野市準備委員会の委員、顧問及び参与である者は、この会則の施行の日に、第4条第2項の規定によりい

ちご一会とちぎ国体下野市実行委員会の委員に、第9条第2項の規定によりいちご一会とちぎ国体下野市実行委員会の顧問及び参与に委嘱されたものとみなす。

3 この会則の施行の際現に準備委員会の専門委員である者は、この会則の施行の日に、第13条第1項の規定によりいちご一会とちぎ国体下野市実行委員会の専門委員に委嘱されたものとみなす。

4 この会則の施行の際現に効力を有する準備委員会の関係規程及び開催基本方針並びに各種計画中、「第77回国民体育大会」とあるものは「いちご一会とちぎ国体」と「準備委員会」とあるものは「実行委員会」と読み替えるものとする。

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会総会から
常任委員会への委任事項

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会会則第11条第4項第5号の規定に基づく常任委員会への委任事項は、次のとおりとする。

- 1 開催準備の総合企画及び運営に関すること
- 2 競技会場及び競技運営並びに式典に関すること
- 3 宿泊及び医事衛生に関すること
- 4 輸送、交通、警備及び消防に関すること
- 5 広報及び市民協働に関すること
- 6 その他会務に必要な事項に関すること

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 委員

(順不同・敬称略)

【会長】 1名

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
1	市関係	下野市	市長	広瀬 寿雄

【委員】 101名

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
2	市議会関係	下野市議会	議長	小谷野 晴夫
3		下野市議会	副議長	大島 昌弘
4		下野市議会総務常任委員会	委員長	石田 陽一
5		下野市議会経済建設常任委員会	委員長	岡本 鉄男
6		下野市議会教育福祉常任委員会	委員長	松本 健一
7		県競技団体	公益社団法人 栃木県サッカー協会	会長
8	栃木県ハンドボール協会		会長	五十嵐 清
9	栃木県キンボールスポーツ連盟		理事長	田村 孝士
10	市競技団体関係	下野市サッカー協会	会長	吉澤 賢一
11	スポーツ関係	下野市スポーツ推進審議会	会長	野口 俊明
12		下野市スポーツ推進委員会	会長	増渕 進
13		下野市体育協会	会長	野口 俊明
14		下野市スポーツ少年団	本部長	大山 茂
15		NPO法人夢くらぶ国分寺	理事長	増渕 進
16		NPO法人元気ワイワイ南河内	理事長	内木 登
17		NPO法人グリムの里スポーツクラブ	理事長	金田 幸子
18		株式会社栃木サッカークラブ	代表取締役社長	橋本 大輔
19	学校関係	下野市小学校長会	会長	青木 浩美
20		下野市中学校長会	会長	坂口 修
21		栃木県立石橋高等学校	校長	瀬端 徹
22		下野市幼稚園連合会	会長	小倉 康延
23		学校法人自治医科大学	学長	永井 良三
24	産業・経済関係	下野市商工会	会長	長 光博
25		石橋商工会	会長	吉田 宗司
26		宇都宮農業協同組合	代表理事組合長	横松 久夫
27		小山農業協同組合	代表理事組合長	福田 浩一郎
28		下野市青年クラブ協議会	会長	大島 恵太
29		下野市建設業協同組合	理事長	前原 正義
30		下野市造園建設業協同組合	理事長	大橋 久也
31		下野市管工事業協同組合	理事長	吉田 宗司
32		下野市本場結城紬振興協議会	会長	松本 脩
33		下野市立地企業連絡協議会	会長	植草 英一郎
34		株式会社 道の駅しもつけ	取締役支配人	後藤 勲
35		企業組合すがたがわ	代表理事	池田 栄
36		通信・運輸関係	東日本旅客鉄道株式会社大宮支社小金井駅	駅長
37	下野・壬生タクシー事業者協議会		会長	荒川 弘幸
38	日本郵便株式会社 下野小金井郵便局		局長	粕谷 竜也
39	東日本電信電話株式会社栃木支店		支店長	長谷部 周彦
40	東京電力パワーグリッド株式会社栃木南支社		支社長	矢島 浩二
41	一般社団法人栃木県バス協会		会長	手塚 基文
42	東京海上日動火災保険株式会社 小山支社		支社長	三浦 信明
43	宿泊・観光関係	一般社団法人下野市観光協会	会長	広瀬 寿雄
44		一般社団法人栃木県旅行業協会	会長	國谷 一男
45		石橋飲食旅館料理組合	組合長	青木 保雄
46		下野市食生活改善推進員協議会	会長	佐藤 とよ子
47		下野市農村生活研究グループ協議会	会長	伊澤 和江
48		小山食品衛生協会石橋支部	支部長	阿部 澄夫
49		国分寺食品衛生協会	会長	篠崎 哲夫
50		南河内食品衛生協会	会長	須藤 好章

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
51	医療関係	一般社団法人小山地区医師会下野支部	支部長	佐藤 慎
52		一般社団法人小山歯科医師会	会長	手束 公一
53		一般社団法人小山薬剤師会	会長	山田 利信
54		公益社団法人栃木県看護協会小山地区支部	支部長	野本 史子
55		日本赤十字社栃木県支部下野市地区	地区長	広瀬 寿雄
56		自治医科大学付属病院	病院長	佐田 尚宏
57		医療法人社団友志会石橋総合病院	理事長	正岡 太郎
58		医療法人小金井中央病院	理事長	田中 昌宏
59	警備・消防関係	石橋地区消防組合消防本部	消防長	須田 実
60		下野市消防団	団長	倉井 茂樹
61		交通安全協会下野支部	支部長	奥田 勉
62		下野地区防犯協会連合会	会長	広瀬 寿雄
63		下野市交通指導員連絡協議会	会長	上野 友彦
64		下野市女性防火クラブ	会長	海老原 新子
65	社会団体関係	下野市自治会長連絡協議会	会長	川俣 一由
66		下野市国内交流協会	会長	川俣 一由
67		下野市国際交流協会	会長	伊沢 一郎
68		社会福祉法人下野市社会福祉協議会	会長	小口 昇
69		下野市子ども会育成会連絡協議会	会長	菊地 将尚
70		下野市PTA連絡協議会	会長	阿部 憂子
71		下野市老人クラブ連合会	会長	山田 博
72		下野市緑化推進委員会	会長	川俣 一由
73		下野市文化協会	会長	中川 賢一
74		一般財団法人 グリムの里いしばし	理事長	伊澤 勝彦
75		下野市民生委員児童委員協議会	会長	渡邊 欣有
76		下野ライオンズクラブ	会長	田村 友輝
77		石橋ライオンズクラブ	会長	横田 敏弘
78		下野市身体障害者福祉会	会長	山本 隆
79	下野市ボランティア連絡協議会	会長	海老原 新子	
80	下野市健康推進員協議会	会長	上野 文夫	
81	報道関係	日本放送協会宇都宮放送局	局長	村木 優実子
82		株式会社産経新聞社宇都宮支局	支局長	鈴木 憲司
83		株式会社下野新聞社下野支局	支局長	野村 明敏
84		株式会社テレビ朝日宇都宮支局	支局長	小平 和英
85		東京新聞宇都宮支局	支局長	蒲 敏哉
86		ケーブルテレビ株式会社	代表取締役	高田 光浩
87		株式会社とちぎテレビ	代表取締役社長	黒内 和男
88		株式会社栃木南部よみうり	営業部長	尾池 護
89		株式会社朝日新聞社宇都宮総局	総局長	向井 貴之
90		株式会社毎日新聞社宇都宮支局	支局長	青木 英一
91		株式会社読売新聞社小山支局	支局長	林 栄太郎
92	市関係	下野市	副市長	山中 庄一
93		下野市教育委員会	教育長	池澤 勤
94		下野市総合政策部	部長	小谷野 雅美
95		下野市総務部	部長	梅山 孝之
96		下野市市民生活部	部長	山中 利明
97		下野市健康福祉部	部長	手塚 均
98		下野市産業振興部	部長	栃本 邦憲
99		下野市建設水道部	部長	瀧澤 卓倫
100		下野市議会事務局	局長	谷田貝 明夫
101		下野市教育委員会事務局	教育次長	清水 光則
102		下野市	会計管理者	所 光子
103		下野市	代表監査委員	大久保 武

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 顧問・参与

(順不同・敬称略)

【顧問】 1名

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
104	県議会関係	栃木県議会	議員	高山 和典

【参与】 23名

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
105	市議会関係	下野市議会	議員	秋山 幸男
106	市議会関係	下野市議会	議員	石田 陽一
107	市議会関係	下野市議会	議員	岡本 鉄男
108	市議会関係	下野市議会	議員	松本 賢一
109	市議会関係	下野市議会	議員	大島 昌弘
110	市議会関係	下野市議会	議員	坂村 哲也
111	市議会関係	下野市議会	議員	伊藤 陽一
112	市議会関係	下野市議会	議員	五戸 豊弘
113	市議会関係	下野市議会	議員	貝木 幸男
114	市議会関係	下野市議会	議員	石川 信夫
115	市議会関係	下野市議会	議員	相澤 康男
116	市議会関係	下野市議会	議員	奥田 勉
117	市議会関係	下野市議会	議員	中村 節子
118	市議会関係	下野市議会	議員	高橋 芳市
119	市議会関係	下野市議会	議員	小谷野 晴夫
120	市議会関係	下野市議会	議員	磯辺 香代
121	市議会関係	下野市議会	議員	村尾 光子
122	市教育委員	下野市教育委員会	委員	永山 伸一
123	市教育委員	下野市教育委員会	委員	佐間田 香
124	市教育委員	下野市教育委員会	委員	熊田 裕子
125	市教育委員	下野市教育委員会	委員	石嶋 和夫
126	国・県関係	国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所 国分寺出張所	出張所長	松村 光雄
127	国・県関係	下野警察署	署長	篠原 勝弘

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会 役員

(順不同・敬称略)

【会長】 1名

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
1	市関係	下野市	市長	広瀬 寿雄

【副会長】 7名

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
1	市議会関係	下野市議会	議長	小谷野 晴夫
2	産業・経済関係	下野市商工会	会長	長 光博
3		石橋商工会	会長	吉田 宗司
4	スポーツ関係	下野市体育協会	会長	野口 俊明
5	社会团体関係	下野市自治会長連絡協議会	会長	川俣 一由
6	市関係	下野市	副市長	山中 庄一
7		下野市教育委員会	教育長	池澤 勤

【常任委員】 33名

No.	選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
1	市議会関係	下野市議会	副議長	大島 昌弘
2		下野市議会総務常任委員会	委員長	石田 陽一
3		下野市議会経済建設常任委員会	委員長	岡本 鉄男
4		下野市議会教育福祉常任委員会	委員長	松本 健一
5	県競技団体	公益社団法人 栃木県サッカー協会	会長	星野 務
6		栃木県ハンドボール協会	会長	五十嵐 清
7		栃木県キンボールスポーツ連盟	理事長	田村 孝士
8	スポーツ関係	下野市スポーツ推進審議会	会長	野口 俊明
9		下野市スポーツ推進委員会	会長	増淵 進
10		NPO法人夢くらぶ国分寺	理事長	増淵 進
11		NPO法人元気ワイワイ南河内	理事長	内木 登
12		NPO法人グリムの里スポーツクラブ	理事長	金田 幸子
13	学校関係	下野市小学校長会	会長	青木 浩美
14		下野市中学校長会	会長	坂口 修
15		栃木県立石橋高等学校	校長	瀬端 徹
16	通信・運輸関係	下野・壬生タクシー事業者協議会	会長	荒川 弘幸
17		一般社団法人栃木県バス協会	会長	手塚 基文
18	宿泊・観光関係	一般社団法人下野市観光協会	会長	広瀬 寿雄
19		石橋飲食旅館料理組合	組合長	青木 保雄
20	医療関係	一般社団法人小山地区医師会下野支部	支部長	佐藤 慎
21	警備・消防関係	下野市交通指導員連絡協議会	会長	上野 友彦
22	社会团体関係	社会福祉法人 下野市社会福祉協議会	会長	小口 昇
23		下野市子ども会育成会連絡協議会	会長	菊地 将尚
24		下野市PTA連絡協議会	会長	阿部 憂子
25	報道関係	株式会社下野新聞社下野支局	支局長	野村 明敏
26	市関係	下野市総合政策部	部長	小谷野 雅美
27		下野市総務部	部長	梅山 孝之
28		下野市市民生活部	部長	山中 利明
29		下野市健康福祉部	部長	手塚 均
30		下野市産業振興部	部長	栃本 邦憲
31		下野市建設水道部	部長	瀧澤 卓倫
32		下野市議会事務局	局長	谷田貝 明夫
33		下野市教育委員会事務局	教育次長	清水 光則

【監事】 2名

No.	選出区分	所属機関・団体名及び役職	役職	氏名
1	市関係	下野市	会計管理者	所 光子
2		下野市	代表監査委員	大久保 武

いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会会則（平成30（2018）年11月12日施行）第13条第3項の規定に基づき、いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会専門委員会（以下「専門委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(専門委員会の名称等)

第2条 専門委員会の名称並びにいちご一会とちぎ国体下野市実行委員会常任委員会からの付託及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第3条 専門委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 若干名

(役員を選任)

第4条 委員長及び副委員長は、専門委員のうちからいちご一会とちぎ国体下野市実行委員会の会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

(役員職務)

第5条 委員長は、専門委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した副委員長が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 専門委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

- 2 専門委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれに当たる。
- 3 専門委員会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、又は議決することはできない。ただし、専門委員会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人にその権限を委任し、又は書面により議決に加わることができる。
- 4 専門委員会の議事は、出席した専門委員（あらかじめ通知された事項について、代理人が議決権を行使した委員及び書面により議決権を行使した委員を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 専門委員会は、必要があると認めるときは、専門委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(専門部会)

第7条 専門委員会は、必要があると認めるときは、専門委員会に専門部会を設置し、専門的事項について調査研究等を行わせ、その結果を報告させることができる。

- 2 専門部会は、会長が委嘱した者（以下「部会委員」という。）をもって構成する。

3 第3条から第5条まで並びに第6条第1項、第2項及び第4項の規定は、専門部会について準用する。この場合において、これらの条文中「専門委員会」とあるのは「専門部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と、「副委員長」とあるのは「副部会長」と、「専門委員」とあるのは「部会委員」と読み替えるものとする。

4 部会委員の任期は、専門委員の任期を準用する。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、専門委員会及び専門部会の運営に関し必要な事項は、それぞれ委員長及び部会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成31(2019)年2月4日から施行する。

(施行期日)

この規程は、令和2年3月18日から施行する。

別表(第2条関係)

名称	付託事項	委任事項
総務企画 専門委員会	1 総務企画に関すること。 2 財務に関すること。 3 広報に関すること。 4 市民運動に関すること。 5 観光・おもてなしに関すること。 6 他の専門委員会に属さない事項に関する こと。	左記付託する事項 のうち、事業の実 施に関すること。
競技式典 専門委員会	1 競技会の運営に関すること。 2 式典に関すること。 3 施設の整備に関すること。 4 情報通信に関すること。 5 その他競技式典に関すること。	左記付託する事項 のうち、事業の実 施に関すること。
宿泊衛生 専門委員会	1 宿泊及び配宿計画に関すること。 2 環境衛生及び食品衛生に関すること。 3 医療救護に関すること。 4 その他宿泊衛生に関すること。	左記付託する事項 のうち、事業の実 施に関すること。
輸送交通 専門委員会	1 輸送・交通に関すること。 2 消防・警備に関すること。 3 その他輸送交通に関すること。	左記付託する事項 のうち、事業の実 施に関すること。

総務企画専門委員会委員一覧

(敬称略)

No.	選出区分	機関・団体名	専門委員会	
			役職	氏名
1	スポーツ関係	下野市体育協会	会長	野口 俊明
2	スポーツ関係	株式会社栃木サッカークラブ	運営部ホームタウン	赤井 秀行
3	学校関係	下野市小学校長会	薬師寺小学校長	海老原 忠
4	学校関係	下野市中学校長会	国分寺中学校長	石崎 雅也
5	学校関係	栃木県立石橋高等学校	教頭	小林 崇宏
6	学校関係	下野市幼稚園連合会	野ばら幼稚園園長	佐藤 麻矢子
7	学校関係	学校法人自治医科大学	総務部長	藤田 康幸
8	産業・経済関係	下野市商工会	副会長	野田 善一
9	産業・経済関係	石橋商工会	理事	小堀 義美
10	産業・経済関係	宇都宮農業協同組合	南河内営農経済センター長	坂入 宏一
11	産業・経済関係	小山農業協同組合	北部営農支援センター長	小林 裕二
12	宿泊・観光関係	一般社団法人下野市観光協会	事務局長	山内 隆匡
13	社会団体関係	下野市自治会長連絡協議会	副会長	渡邊 欣宥
14	社会団体関係	下野市国内交流協会	監事	本橋 保夫
15	社会団体関係	下野市国際交流協会	副会長	黒須 重光
16	社会団体関係	下野市社会福祉協議会	事務局次長兼総務課長	角田 充仙
17	社会団体関係	下野市子ども会育成会連絡協議会	副会長	杉浦 伸介
18	社会団体関係	下野市PTA連絡協議会	理事	渡邊 喜正
19	社会団体関係	下野市老人クラブ連合会	会長	山田 博
20	社会団体関係	下野市文化協会	副会長	高橋 佳枝
21	社会団体関係	下野市ボランティア連絡協議会	会計	福田 白
22	市関係	総合政策部総合政策課	課長	福田 充男
23	市関係	総合政策部市民協働推進課	課長	根本 宣明
24	市関係	健康福祉部社会福祉課	課長	木村 一枝
25	市関係	健康福祉部こども福祉課	課長	仙頭 明久

総務企画専門委員会委員一覧

(敬称略)

No.	選出区分	機関・団体名	専門委員会	
			役職	氏名
26	市関係	健康福祉部高齢福祉課	課長	長塚 章
27	市関係	産業振興部農政課	課長	野口 範雄
28	市関係	産業振興部商工観光課	課長	伊澤 巳佐雄
29	市関係	教育委員会事務局学校教育課	課長	田澤 孝一
30	市関係	教育委員会事務局生涯学習文化課	課長	篠崎 正代
31	市関係	教育委員会事務局文化財課	課長	山口 耕一

競技式典専門委員会委員一覧

(敬称略)

No.	選出区分	機関・団体名	専門委員会	
			役職	氏名
1	県競技団体	公益社団法人栃木県サッカー協会	理事	福田 治
2	県競技団体	栃木県ハンドボール協会	副理事長	岸 裕行
3	県競技団体	栃木県キンボールスポーツ連盟	理事長	田村 孝士
4	市競技団体関係	下野市サッカー協会	会長	吉澤 賢一
5	スポーツ関係	下野市スポーツ推進委員会	顧問	梁島 耕治
6	スポーツ関係	下野市スポーツ推進委員会	副会長	松山 裕
7	スポーツ関係	下野市体育協会	副会長	金島 真
8	スポーツ関係	下野市スポーツ少年団	本部長	大山 茂
9	スポーツ関係	NPO法人夢くらぶ国分寺	理事	増山 裕子
10	スポーツ関係	NPO法人元気ワイワイ南河内	事務局長	熊谷 美里
11	スポーツ関係	NPO法人グリムの里スポーツクラブ	理事長	金田 幸子
12	学校関係	栃木県立石橋高等学校	地域連携教員	針谷 勉
13	学校関係	学校法人自治医科大学	教授	板井 美浩
14	市関係	総合政策部総合政策課	課長	福田 充男
15	市関係	教育委員会事務局教育総務課	課長	近藤 善昭
16	市関係	教育委員会事務局学校教育課	課長	田澤 孝一

宿泊衛生専門委員会委員一覧

(敬称略)

No.	選出区分	機関・団体名	専門委員会	
			役職	氏名
1	宿泊・観光関係	一般社団法人下野市観光協会	事務局長	山内 隆匡
2	宿泊・観光関係	石橋飲食旅館料理組合	組合長	青木 保雄
3	宿泊・観光関係	下野市食生活改善推進員協議会	副会長	齋藤 好子
4	宿泊・観光関係	下野市農村生活研究グループ協議会	顧問	菊地 百合子
5	宿泊・観光関係	小山食品衛生協会石橋支部	支部長	阿部 澄夫
6	宿泊・観光関係	国分寺食品衛生協会	会長	篠崎 哲夫
7	宿泊・観光関係	南河内食品衛生協会	顧問	早川 進
8	医療関係	一般社団法人小山地区医師会下野支部	—	都丸 高志
9	医療関係	一般社団法人小山歯科医師会	副会長	黒田 裕之
10	医療関係	一般社団法人小山薬剤師会	理事	塩野入 洋
11	医療関係	公益社団法人栃木県看護協会小山地区支部	助産師	渡部 睦美
12	市関係	市民生活部環境課	課長	坂本 秀夫
13	市関係	健康福祉部健康増進課	課長	近藤 和行
14	市関係	産業振興部農政課	課長	野口 範雄
15	市関係	産業振興部商工観光課	課長	伊澤 巳佐雄

輸送交通専門委員会委員一覧

(敬称略)

No.	選出区分	機関・団体名	専門委員会	
			役職	氏名
1	通信・運輸関係	東日本旅客鉄道株式会社大宮支社 小金井駅	駅長	江面 貴之
2	通信・運輸関係	下野・壬生タクシー事業者協議会	会長	荒川 弘幸
3	通信・運輸関係	一般社団法人栃木県バス協会	専務理事	小矢島 応行
4	警備・消防関係	石橋地区消防組合消防本部	警防課長	鯉沼 崇
5	警備・消防関係	下野市消防団	副団長	小平 友一
6	警備・消防関係	交通安全協会下野支部	支部会計	蓬田 英夫
7	警備・消防関係	下野地区防犯協会連合会	理事	直井 満
8	警備・消防関係	下野市交通指導員連絡協議会	副会長	茂呂 昭雄
9	警備・消防関係	下野市女性防火クラブ	副会長	五月女 豊子
10	国・県関係	国土交通省関東地方整備局宇都宮 国道事務所国分寺出張所	出張所長	松村 光雄
11	国・県関係	下野警察署	交通課長	小島 悟
12	市関係	市民生活部安全安心課	課長	直井 満
13	市関係	建設水道部建設課	課長	保沢 明

いちご一会とちぎ国体下野市開催推進総合計画

いちご一会とちぎ国体（以下「国体」という。）の成功に向け、下野市民の元気と力を集結し「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」の実現につながる国体を目指し、下野市開催基本方針に沿った開催推進総合計画を定めるものとする。

1 基本方針

(1) 総務企画

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、国体を一過性のものとせず、スポーツを通じてまちづくりの好循環につながる国体とするため、総合的な計画の立案と施策の推進を図る。

(2) 財務

県、競技団体、関係機関及び関係団体との相互協力のもと、創意工夫を凝らした魅力あふれる国体を目指し、適切で効率的な財務の運営を図る。

(3) 広報

国体開催に対する市民の関心や参加意欲を高めるため、効果的な広報活動を積極的に展開するとともに、参加した選手をはじめ、国体に関わった人々を通じて下野市の豊かな自然や観光、文化など多彩な魅力を全国に向けて発信する。

(4) 市民運動

市民一人ひとりが国体開催の意義を理解し、それぞれの立場で積極的に参加する機運の醸成を図るとともに、市民総参加のもと一丸となって国体を盛り上げていくことにより、国体終了後も地域コミュニティの醸成や地域の活性化の推進につなげる。

(5) 観光・接伴

選手・監督をはじめ、下野市を訪れるすべての方々を温かくお迎えするとともに、下野市の観光・文化など多彩な魅力を紹介し、もう一度訪れていただけるよう心のこもったおもてなしを提供する。

(6) 競技

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、競技会の円滑な運営を図るとともに、競技運営に必要な用具等については、可能な限り現有のものを活用するなどあらゆる手段を講じながら効率的に整備する。

(7) 式典

県、競技団体、関係機関及び関係団体と十分に協議をし、創意工夫を凝らした温かみのある式典とする。

(8) 施設

国民体育大会開催基準要項に規定されている施設基準を尊重し、既存市有施設の有効活用に努めることを前提としながら、国体開催後の市民等の施設利用も視野に入れた整備を行う。

(9) 宿泊

選手や監督をはじめ、下野市を訪れるすべての方々を温かくお迎えし、宿泊施設その他関係機関との連携により、大会参加者が最良のコンディションで十分に活躍できるよう、安全で快適な宿舎の確保を図り、受け入れ体制に万全を期する。

(10) 医事・衛生

選手・監督をはじめ、国体に携わるすべての方々が清潔かつ快適な環境のもとで十分な活躍と観覧ができるよう、県、競技団体、関係機関及び関係団体の協力を得ながら、食品衛生及び環境衛生に配慮するとともに、防疫体制及び医療救護体制を確立する。

(11) 輸送・交通

下野市の交通事情を勘案し、交通事業者その他関係機関との連携により、安全かつ効率的な輸送手段の確保に努める。併せて、公共交通機関の利用を促進するなど交通混雑の緩和と環境に配慮した安全・安心な輸送・交通体制の確立を図る。

(12) 消防・警備

競技会場その他国体関係施設における治安の確保や災害の防止、非常時の緊急対策について万全を期するため、県、競技団体、消防・警察その他関係機関と緊密に連携しながら、消防防災・警備体制の確立を図る。

いちご一会とちぎ国体下野市開催推進総合年次計画【年度別業務】

年度	2018年度(4年前)	2019年度(3年前)	2020年度(2年前)	2021年度(1年前)	2022年度(開催年)
主要行事		日本スポーツ協会・ 文部科学省総合視察 大会開催・会期決定		リハーサル大会開催 中央競技団体視察	第77回国民体育大会 開催 第22回全国障害者 スポーツ大会開催
準備組織	準備委員会 設立発起人会開催 準備委員会 設立総会・第1回総会 常任委員会開催	国体準備室(仮) (4月) 第2回準備委員会総会・ 第1回実行委員会総会開催 常任委員会開催 総務企画専門委員会 設置・開催 競技式典専門委員会 設置・開催 宿泊衛生専門委員会 設置・開催 輸送交通専門委員会 設置・開催 庁内推進本部 設置・開催	第2回実行委員会 総会開催	第3回実行委員会 総会開催	第4回実行委員会 総会開催
①総務企画 ②財務	開催推進総合計画 策定・進行管理		大会運営ガイドライン 策定 協賛取扱要項策定 リハ大会経費検討 大会経費予算検討	大会実施本部運営 マニュアル作成 協賛の推進 リハ大会予算 執行・決算 大会予算編成	大会予算 執行・決算 大会用 識別用品整備 遺失物・拾得物 取扱実施 大会保険加入
③広報		広報基本計画策定 ↓ 広報 アクションプラン策定 ↓ 広報啓発活動の推進	実行委員会ホーム ページ開設準備 大会報告書編成 方針決定	実行委員会ホーム ページ開設・運営 大会報告書作成	大会報告書 作成
④市民活動		市民運動基本計画策定 市民運動 アクションプラン策定 ボランティア募集等 の検討 ↓ ボランティア募集 要項策定	市民運動 アクションプラン実施 リハ大会ボランティア 業務計画策定 ボランティア募集	大会ボランティア 業務計画策定 ボランティア募集・ 研修会開催 リハ大会 ボランティア配置	大会ボランティア配置
⑤観光・ おもてなし		観光・おもてなし 基本計画策定	観光・おもてなし 実施要項策定 総合案内所 設置要項策定 休憩所等 設置要項策定 売店 設置要項策定 歓迎装飾実施要項策定	ガイドブック・観光ガイド マップ作成検討 リハ大会 総合案内所設置 リハ大会 休憩所等設置 リハ大会 売店設置	ガイドブック・観光ガイド マップ配布 案内所設置 休憩所等設置 売店設置 歓迎装飾実施
国体開催県	福井県	茨城県	鹿児島県	重慶	栃木県

第5回実行委員会解散総会

大会決算書

第77回国民体育大会開催

大会報告書

総務企画専門委員会

いちご一会とちぎ国体下野市開催推進総合年次計画【年度別業務】

年度	2018年度(4年前)	2019年度(3年前)	2020年度(2年前)	2021年度(1年前)	2022年度(開催年)	
⑥ 競技	競技式典専門委員会	競技運営基本計画策定	競技別実施計画策定	競技別実施要項策定	競技別プログラム作成	
				競技日程・組合せ表(案)作成	組合せ抽選会実施	
		競技用具整備計画検討	競技用具整備計画策定	競技用具整備		
			競技役員等編成(案)作成	競技役員等編成決定・委嘱		
			競技会係員・補助員編成計画策定	競技会係員・補助員編成決定及び養成	競技会係員・補助員の委嘱	
		リハ大会開催基本計画策定	競技別リハ大会実施要項策定			
		練習会場地案作成	練習会場協力依頼	練習会場借用依頼		
			デモスポ実施要項検討	デモスポ実施要項策定	デモスポ開催	
			情報通信基本計画策定	情報通信業務実施要項策定	臨時通信施設架設設置	
		⑦ 式典		式典基本計画策定	式典実施要項策定	式典実施要項策定
	炬火イベント実施計画策定			炬火イベント実施要項策定	炬火イベント実施	
⑧ 施設		施設整備基本計画策定	リハ大会会場設置仕様書作成	リハ大会会場設置		
				大会会場設置仕様書作成	大会会場設置	
⑨ 宿泊		宿泊基本計画策定	リハ大会宿泊要項作成	大会宿泊要項作成	大会宿泊本部設置	
		第一次仮配宿シミュレーション	第二次仮配宿シミュレーション	第三次仮配宿シミュレーション	大会配宿実施	
⑩ 医事衛生	宿泊衛生専門委員会	医事衛生基本計画策定	医療救護対策要項策定	医療救護対策実施要領策定	救護所設置計画策定	大会救護所設置
				リハ大会対策救護所設置計画策定	リハ大会救護所設置	
			感染症(防疫)対策要項策定	感染症(防疫)対策要領策定	防疫対策実施計画策定	医事衛生本部設置
			食品衛生対策要項策定	食品衛生対策要領策定	食品衛生対策実施計画策定	
			環境衛生対策要項策定	環境衛生対策要領策定	環境衛生対策実施計画策定	
					廃棄物処理計画策定	廃棄物処理実施
⑪ 輸送交通	輸送交通専門委員会	輸送交通基本計画策定	リハ大会輸送計画策定	リハ大会計画輸送実施		
		輸送業務実施要項策定	計画輸送シミュレーション	会場地輸送計画策定	輸送本部設置	
		輸送計画等調査	交通対策業務実施要項検討	交通対策業務実施要項策定		
⑫ 消防警備	消防警備専門委員会	消防防災・警備業務基本計画策定	消防防災・警備業務実施要項策定	大会自主警備計画策定	消防警備本部設置	
			リハ大会消防警備計画策定	リハ大会消防警備本部設置		
国体開催県	福井県	茨城県	鹿児島県	三重県	栃木県	

第77回国民体育大会開催